

令和
元年度

大分県地域リハビリテーション

活動報告書

大分県リハビリテーション支援センター

独立行政法人 地域医療機能推進機構

湯布院病院

目 次

○ご挨拶	1
○大分県における支援体制	
1. 大分県における地域リハビリテーション支援体制	2
・大分県リハビリテーション支援センター運営部運営規程	
2. 県下関係機関との連携	5
・三者会議運用規程、拡大運営会議運用規程、イメージ図	
○大分県リハビリテーション支援センター活動報告および地域リハビリテーション関連活動報告	
1. 令和元年度大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ	8
2. 令和元年度実施事業の詳細	9
3. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告	13
4. おおいた食のリハビリテーション研究会活動報告	15
○大分県地域リハビリテーション広域支援センター活動報告	
・東部圏域 東国東地域	18
・東部圏域 別杵速見地域	19
・中部圏域 大分地域	20
・中部圏域 臼津地域	22
・南部圏域 佐伯地域	25
・豊肥圏域 大野地域	26
・豊肥圏域 竹田地域	27
・西部圏域 日田玖珠地域	29
・北部圏域 中津地域	30
・北部圏域 宇佐高田地域	31

○県内地域リハビリテーション専門職能団体（拡大運営会議構成団体）活動報告（五十音順）

・一般社団法人 大分県医療ソーシャルワーカー協会	34
・公益社団法人 大分県栄養士会	36
・NPO法人 大分県介護支援専門員協会	38
・一般社団法人 大分県介護福祉士会	40
・公益社団法人 大分県看護協会	42
・公益社団法人 大分県言語聴覚士協会	44
・一般社団法人 大分県公認心理師協会（大分県臨床心理士会）	46
・公益社団法人 大分県作業療法協会	48
・一般社団法人 大分県歯科医師会	51
・一般社団法人 大分県歯科衛生士会	53
・大分県視能訓練士会	55
・大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会	57
・大分県地域リハビリテーション研究会	58
・一般社団法人 大分県病院協会	60
・公益社団法人 大分県放射線技師会	62
・公益社団法人 大分県薬剤師会	64
・公益社団法人 大分県理学療法士協会	66
・公益社団法人 大分県臨床検査技師会	68
・公益社団法人 大分県臨床工学技士会	70

連絡先一覧

1. 県リハセンター、広域支援センター所在地・連絡先	72
2. 県内地域リハビリテーション専門職能団体（拡大運営会議構成団体）連絡先	73



ご挨拶

独立行政法人 地域医療機能推進機構 湯布院病院院長 三 原 太

令和2年1月1日付けで、独立行政法人 地域医療機能推進機構 湯布院病院の院長職を拝命いたしました。ご挨拶を申し上げます。

さて、健康寿命日本一を目指す大分県におきましては、多様な主体等による健康な地域づくりが大切となっております。大分県からご指定をいただいております県リハビリテーションセンターとしましては、予防的リハビリテーションを推進すること、リハビリテーションのサービスを急性期、回復期、維持期と継続的に行う流れを整備すること、リハビリテーション利用者の社会参加を積極的に支援すること、地域の方々の理解を得て共同して社会情勢に対処すること、の活動を行うことでお役に立ちたいと思っております。

県リハビリテーションセンターの取り組みとしましては、大分県、県リハビリテーションセンター、広域支援センターによる年度事業の確認と調整を行うこと、その3者会議を年2回開催すること、県、県リハビリテーションセンター、県地域リハビリテーション研究会加入団体などの地域リハビリテーション主要関係団体との意見交換を行うこと、広域支援センター実務者と次年度事業の方針を協議すること、県地域リハビリテーション研究会との合同研修会を年1回開催すること、県地域リハビリテーション・ケア大会を年1回開催すること、技術研修会を随時開くこと、地域リハビリテーション調整者・地域リハビリテーション協力員養成研修会を開催すること、そして、県地域包括ケア研究会、おおいた食のリハビリテーション研究会、県訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション研究会を支援することなどがあります。

これらができますのも、県福祉保健部健康づくり支援課・高齢者福祉課、広域支援センター、各種職能団体の皆様のご尽力・ご協力をいただきましてのゆえでございます。この場をお借りしまして深くお礼を申し上げます。また、県リハビリテーションセンターを運営するにあたり、県より人件費を賜ることとなり、委託契約金が増額しましたことを皆様にご報告申し上げます、重ねてお礼を申し上げます。

ところで、令和元年度の1月からは、新型コロナ肺炎が流行しはじめて、その後、各種の会議や研修会などの活動が極めて制限をされておりますことは、まことに残念でございます。一日も早く、元の活動が再開できますようにと心より願っております。また、皆様方におかれましても、くれぐれもご健康でお過ごしになられますように、お祈りを申し上げます。

今後とも相変わらぬご指導・ご鞭撻をいただきますよう、お願いを申し上げます。

J C H O湯布院病院
大分県リハビリテーション支援センター運営部
運 営 規 程

(目 的)

第1条 大分県リハビリテーション支援センター（以下 県リハセンター）は、大分県、広域支援センター、諸職能団体と緊密に連携をとりながら、障害のある人や高齢者、さらには県民一人一人が地域で安心して生き生きとした生活が送れるように、地域リハビリテーション活動の体制整備と充実を図ること、また、災害時のリハビリテーション支援体制づくりにも取り組むこと、を目的に設置する。

(組 織)

第2条 県リハセンター長（以下 センター長）は県リハセンターの事業全般を統括・指揮する。

2 県リハセンターの円滑な事業運営を図るために、県リハセンターに企画調整室、県リハセンター運営部（以下 運営部）を設置する。また、大分災害リハビリテーション推進協議会（以下 大分 J R A T）の事務局として大分 J R A T事務局を設置する。

3 地域の介護予防・日常生活支援総合事業に協力するため介護予防推進活動班を別に設け、県リハ事業と密接な連携を図る。

(企画調整室)

第3条 企画調整室は医局、看護部、リハビリテーション科、地域連携室、事務部からセンター長が指名する職員をもって構成し、事業計画の策定、事業内容の企画・調整、調査・研究等を担当する。計画の策定にあたっては、大分県、大分県地域リハビリテーション研究会、広域支援センター、必要に応じて関連する諸団体との連絡、連携を図る。

(運営部)

第4条 運営部はセンター長が指名する職員をもって構成し、企画調整室で策定された事業計画の実施にあたるほか、県リハセンターの窓口として、関係機関、団体との連絡、調整等を行う。また、県リハセンターの経理を担当する。

2 センター長は運営部に運営部長を任命し、運営部長は運営部を管理、運営する。

3 センター長は必要に応じ、運営部に副運営部長、運営部長補佐、センター事務長を任命できる。

4 運営部には会議を担当する会議企画班、研修会を担当する研修班、J R A Tの支援を行う災害リハビリ支援班、関係機関、団体との連絡、調整及び県リハセンターの経理を担当する庶務班を置く。

(大分 J R A T事務局)

第5条 大分 J R A T事務局は、災害リハビリテーションの教育、普及、啓発および災害リハビリテーションコーディネーターや支援チームの組織化、訓練、人材育成、D M A Tや J M A T等との連携、そして大分県および全国規模の災害時における直接的支援活動等の事務局業務を担う。

2 センター長は大分 J R A T事務局に事務局長を任命し、事務局長は大分 J R A T事務局を管理、運営する。

3 センター長は必要に応じ、大分 J R A T事務局に事務局長補佐を任命できる。

(協力部門)

第6条 センターに所属する医師、看護師、薬剤師、リハビリテーションセラピスト、医療福祉相談員、

管理栄養士、検査技師、臨床心理士、歯科衛生士、介護福祉士、事務員等は、センター事業の円滑な実施が図られるよう積極的な事業協力を行う。

(任期)

第7条 企画調整室、運営部、大分JRA T事務局職員の任期は原則として1年とする。ただし、任期満了の1ヵ月前までにセンター長もしくは職員から何らかの意思表示がないときは、任期を1年毎に延長するものとする。

(運営委員会)

第8条 県リハセンターの円滑な運営を図るため、運営委員会を置く。

- 2 運営委員会はセンター長、企画調整室、運営部で構成され、運営部長を議長とする。
- 3 運営部長不在時には副運営部長もしくは運営部長補佐が議長を代行する。
- 4 議長は原則として毎月1回定例の運営委員会を開催し、次の事項を審議する。
 - ア 事業計画、事業予算の検討、策定
 - イ 事業内容の検討、実施
 - ウ 研修計画の検討、実施
 - エ 関係機関、団体との連絡調整
 - オ 事業報告、事業決算
 - カ その他必要な事項
- 5 議長は必要に応じて臨時に運営委員会を開催できるものとする。
- 6 議長は必要に応じて運営委員会に、協力部門等に所属する職員の出席を要請し、意見を聞くことができるものとする。

(三者会議)

第9条 県下における地域リハビリテーション支援体制事業を、大分県・県リハセンターおよび広域支援センターの三者が協調し地域の実情を踏まえバランス良く展開するための協議機関として大分県・県リハセンター・広域支援センター合同会議（略称：三者会議）を設置する。

- 2 会議の構成は以下の通りとする。
 - 1) 大分県健康づくり支援課：代表者若干名
 - 2) 県リハセンター：センター長、運営部長、事務長、企画調整室、運営部員
 - 3) 広域支援センター：各センター代表者1名（希望があれば同伴者2名以内可能とする）
- 3 会議の開催は原則年2回とする。
- 4 会議には議長及び副議長を置く。議長は県リハセンター長が務め、副議長は県リハセンター運営部長が務める。
- 5 副議長は、議長を補佐し、議長不在時はその職務を代行する。

(拡大運営会議)

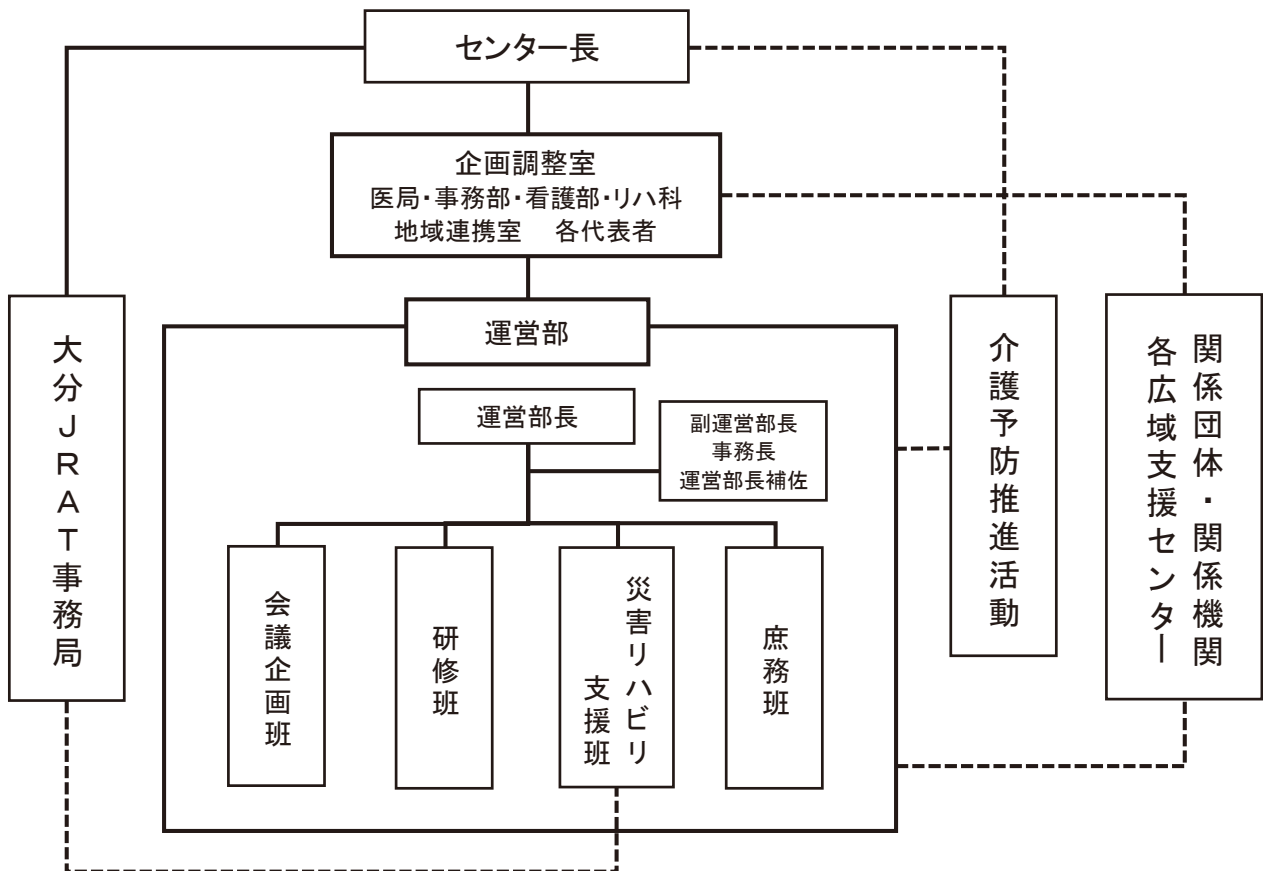
第10条 県リハセンターの事業立案に向けた情報収集、並びに事業の円滑な運営に向け、県内の保健・医療・福祉分野における専門職能団体間の緊密な協力と調整を図ることを目的に、県リハセンター拡大運営会議（略称：拡大運営会議）を設置する。

- 2 会議の構成は以下の通りとする。
 - 1) 大分県健康づくり支援課：代表者若干名
 - 2) 県リハセンター：センター長、運営部長、事務長、企画調整室、運営部員

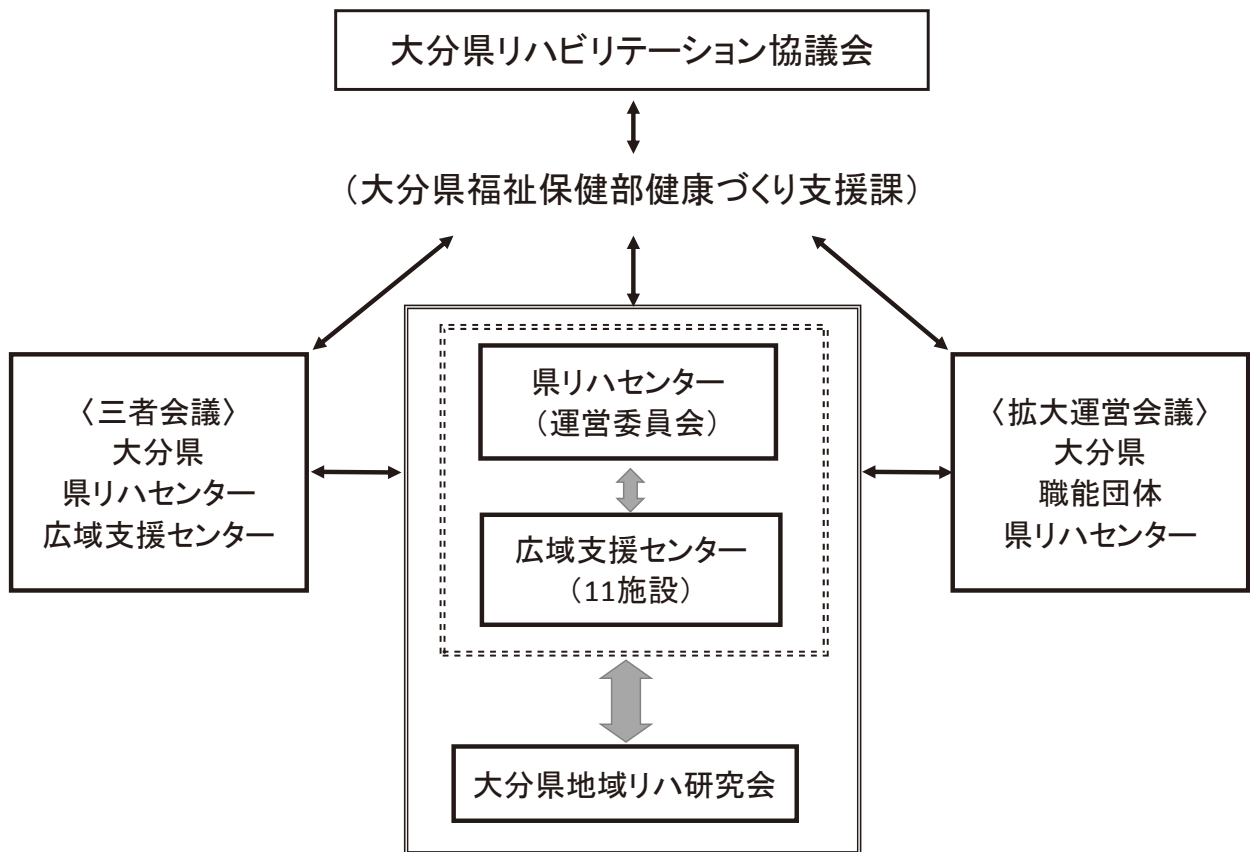
- 3) 必要と認める各種団体の代表者（各種団体については別に定める）。
- 3 会議の開催は原則年1回とする。
- 4 会議には議長及び副議長を置く。議長は県リハセンター長が務め、副議長は県リハセンター運営部長が務める。
- 5 副議長は、議長を補佐し、議長不在時はその職務を代行する。

- 附 則 この運営規程は平成15年4月1日から施行する。
- 附 則 この運営規程は平成15年6月4日改訂し施行する。
- 附 則 この運営規程は平成15年11月12日改訂し施行する。
- 附 則 この運営規程は平成26年4月1日に病院経営母体の移行に伴う名称の変更を行なう。
- 附 則 この運営規程は平成28年4月1日より大分県リハビリテーション支援センター業務の委託料一元化にともない、三者会議の位置づけの変更を行う。
- 附 則 この運営規程は平成30年2月27日大分県リハビリテーション協議会にて承認され4月1日改訂し施行する。

大分県リハビリテーション支援センター 組織図



三者会議・拡大運営会議の位置づけ



広域支援センター（11施設） (令和2年4月1日現在)

国東市民病院
 別府リハビリテーションセンター
 井野辺病院
 大分リハビリテーション病院
 臼杵市医師会立コスモス病院
 長門記念病院
 帰巖会みえ病院
 大久保病院
 済生会日田病院
 川鳶整形外科病院
 佐藤第一病院

県リハセンター拡大運営会議 参加団体（20）名簿（令和2年4月1日現在）

大分県医療ソーシャルワーカー協会
 大分県栄養士会
 大分県介護支援専門員協会
 大分県介護福祉士会
 大分県看護協会
 大分県言語聴覚士協会
 大分県公認心理師協会(大分県臨床心理士会)
 大分県作業療法協会
 大分県歯科医師会
 大分県歯科衛生士会
 大分県視能訓練士会
 大分県地域包括・総合相談・
 在宅介護支援センター協議会
 大分県地域リハビリテーション医師懇話会
 大分県地域リハビリテーション研究会
 大分県病院協会
 大分県放射線技師会
 大分県薬剤師会
 大分県理学療法士協会
 大分県臨床検査技師会
 大分県臨床工学技士会

五十音順



広域支援センター

佐藤第一病院(小野)
宇佐市法鏡寺77-1
TEL:0978(32)2110

川島整形外科病院(杉木・島澤)
中津市宮夫14-1
TEL:0979(24)0464

国東市民病院(中村)
国東市安岐町下原1456番地
TEL:0978(67)1211

別府リハビリテーションセンター(神河)
別府市大字鶴見字中山田1026-10
TEL:0977(67)1711

井野辺病院(佐藤(豊秀)・佐藤(暁))
大分市大字中尾字平255番地
TEL:097(586)5522

大分リハビリテーション病院(渡邊)
大分市志村字谷ヶ迫765番地
TEL:097(503)5000

大分県済生会日田病院(諫山・三木)
日田市大字三和643-7
TEL:0973(24)1100

大久保病院(甲斐・亀井)
竹田市久住町大字栢木6026-2
TEL:0974(64)7777

社会医療法人帰巖会みえ病院(石丸)
豊後大野市三重町赤嶺1250番地1
TEL:0974(22)2222

**白杵市医師会立
コスモス病院(安藤)**
白杵市大字戸室字長谷1131-1
TEL:0972(62)5599

長門記念病院(土谷)
佐伯市鶴岡町1-11-59
TEL:0972(24)3000

※()内は連絡担当窓口

H 30 年度～

JCHO 湯布院病院

<http://yufuin.jcho.go.jp>

大分県リハビリテーション支援センター運営部 (佐藤(友)・迫頭・吉村・西ノ園)

〒879-5193 大分県由布市湯布院町川南252

R2.4月現在

TEL : 0977(84)3171(代表) FAX : 0977(85)5880

大分県リハビリテーション支援センター活動報告 および地域リハビリテーション関連活動報告

<記載項目>

1. 令和元年度大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ
2. 令和元年度実施事業の詳細
3. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告
4. おおいた食のリハビリテーション研究活動報告

1. 令和元年度 大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ

1. 由布保健部圏域介護予防検討会
令和元年9月26日（木） PT 佐藤、OT 佐藤
2. 由布地域包括ケア推進協議会
センター長、事務長、ST 木村、PT 西ノ園、MSW 割石
3. 由布市健康応援団派遣事業
PT18件 OT12件 ST16件 計46件
4. 大分県地域リハビリテーション研究会運営部会
會川・西ノ園・神田
5. 大分県地域リハビリテーション研究会第31回役員会
令和元年6月18日（火） 大分市にて センター長出席
6. 令和元年度大分県回復期リハビリテーション病棟連絡協議会理事会
令和元年6月7日（金） 大分市にて センター長出席
令和2年2月2日（日） 大分市にて センター長出席
7. 大分県リハビリテーション協議会
令和2年3月3日（火）（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
8. 令和元年大分県高次脳機能障がい相談支援体制連絡調整委員会
令和2年3月3日（火）（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
9. 令和元年度 JRAT 九州ブロック会議 in 熊本
令和2年3月28日（土）（新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期）

2. 令和元年度実施事業の詳細

(1) 第 32 回三者会議

日 時：平成 31 年 4 月 16 日（火）

場 所：JCHO 湯布院病院 第 1、2 会議室

出席者：県健康づくり支援課より藤内修二課長、藤本紀代美参事

県高齢者福祉課より吉村主事

広域支援センター代表者

主な議題：県リハセンター並びに広域支援センターの平成 30 年度活動報告

県の進める健康増進計画と地域包括ケア推進について

県リハセンター並びに広域支援センターの令和元年度活動計画

(2) 第 16 回拡大運営会議

日 時：令和元年 6 月 18 日（火）

場 所：JCHO 湯布院病院 第 1、2 会議室

出席者：県健康づくり支援課より藤内課長、藤本紀代美参事

県高齢者福祉課より佐藤参事、阿部主事

関係団体代表者

主な議題：平成 30 年度県リハセンター並びに広域支援センターの事業報告

令和元年度県リハセンター並びに広域支援センター事業計画

県の進める健康増進計画と地域包括ケア推進について

地域リハ活動の普及に向けた各職能団体の取り組み等の報告

及び提出議題の検討

(3) 令和元年度実践者研修：「自動車運転支援の基礎と実践事例を学ぼう！」

日 時：令和元年 7 月 27 日（土）18：30～（受付）19：00～20：30

会 場：J:COM ホルトホール 408 号室

内 容：1. 運転支援を行う上で必要な基礎知識

2. 自動車運転支援の評価の実際と最新情報

3. 支援事例の紹介

講 師：建木 健（たちき けん）氏

NPO 法人 えんしゅう生活支援 net 理事長（静岡県浜松市）/ 作業療法士

ID-lab 合同会社 CEO

参加職種：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、

参加者：60 名



(4) 第16回大分県リハビリテーション支援センター・

大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

実施日：令和元年7月28日（日）

テーマ：地域で支える認知症

報告①「平成30年度地域リハビリテーション活動報告と令和元年度の事業計画」

報告者：大分県リハビリテーション支援センター運営部 佐藤 友美

報告②「令和元年度大分県からの事業説明」

報告者：大分県 高齢者福祉課 地域包括ケア推進班（認知症施策）

主幹 川井 梨沙氏



講演：「これからの認知症対策～共生と予防に向けて～」

講師：鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座 教授 浦上 克哉氏

座長：大分県リハビリテーション支援センター センター長 根橋 良雄



シンポジウム

テーマ「高齢運転者をどう支援する？～活動・参加を維持し

地域でいきいきと暮らすために～」

座長：大分県地域リハビリテーション研究会 副会長 三浦 晃史
アドバイザー：鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座教授 浦上 克哉先生
シンポジスト：

- ①大分県警本部 交通部 運転免許課 講習補佐 衛藤 文彦氏
- ②NPO 法人えんしゅう生活支援 net/ 作業療法士 建木 健氏
- ③さわやか九州1 ブロックインストラクター / 社会福祉士 宮田 太郎氏



衛藤氏



建木氏



宮田氏

会 場：別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 3 F 国際会議場
対 象：リハビリテーション関係者
参加者：184 名

(5) 令和元年度 大分 JRAT 第6回災害リハビリテーション支援研修会

日 時：令和元年9月28日(土) 9:30～16:00(受付9:00～)
会 場：別府リハビリテーションセンター 2階研修室
講演1：「南海トラフを想定した宮崎 JRAT の取り組み」
講 師：宮崎 JRAT 代表 黒木 洋美(くろき ひろみ)先生

セミナー1：「JRAT の概要と災害リハビリテーションの基礎知識」
講 師：河野 将光氏 大分 JRAT 事務局 (岩男病院 理学療法士)
セミナー2：「大分 JRAT について」
講 師：高嶋 一慶氏 大分 JRAT マニュアル委員 (JCHO 湯布院病院)

実 技：模擬避難所での支援訓練

会 場：別府リハビリテーションセンター 体育館
対象者：大分 JRAT 登録完了者及び災害リハビリ関係職種
参加者：60 名

(6) 第33回三者会議

日 時：令和元年12月18日(水)
場 所：JCHO 湯布院病院 第1、2会議室
出席者：県健康づくり支援課より藤内参事監 藤本参事、

県高齢者福祉課より一丸参事、吉村主幹

主な議題：今年度事業の進捗状況報告

県からの報告・協議事項について

ディスカッション：広域支援センターの在り方と課題について

※今年度より三者会議と実務者会議を併せて実施することとなった。

県・県リハ・広域支援センターの相互理解と地域リハの普及啓発に向けた課題を整理する場となった。

(7) 大分県地域リハビリテーション・ケア研修会（県リハセンター共催）

日 時：令和2年1月26日（日）9：30～15：45

会 場：別府ビーコンプラザ 国際会議場

参加者：95人

テーマ：原点回帰

基調講演：原点回帰～大分県地域リハビリテーション研究会が果たすべき役割と今後の展望」

講 師：武居 光雄氏

（諏訪の杜病院 院長 / 大分県地域リハビリテーション研究会 会長）

3. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告

本項では、令和元年度の実績と来年度の事業計画について報告する。

令和2年3月31日現在の支援活動員の登録は79名となっている。佐賀県及び東日本での台風や豪雨災害による被害があり、当該地域 JRAT 活動があったが、大分 JRAT としての直接支援はなかった。

1. 災害リハビリテーションの教育・普及・啓発

- ・災害リハビリテーションに関する研修の実施（令和元年9月28日（土））：再掲
- ・地域住民への災害リハセミナー開催
市民公開講座 令和元年9月12日（木）：湯布院病院において
- ・広域支援センターでの災害リハ研修会の後方支援：再掲
令和2年2月27日（木） 大分リハビリテーション病院主催 災害リハ研修会
※新型コロナウイルス感染予防のため延期

2. 災害対応のための組織化

- ・災害リハ支援チームメンバー登録の推進
登録者数 79名 内訳：医師 8名 作業療法士 16名 理学療法士 49名
言語聴覚士 4名 看護師 1名 その他 1名

【大分 JRAT 事務局活動】

1. 大分 JRAT 世話人会

日時：令和元年9月28日（土） 場所：別府リハビリテーションセンター
内容：大分 JRAT 組織運営、ならびに災害リハ研修の検討等

2. 大分 JRAT 災害リハ研修会 打ち合わせ

日時：令和元年8月9日（金） 場所：別府リハビリテーションセンター
内容：研修会における実動訓練のシナリオ・役割分担の確認等

3. 地域 JRAT 活動状況の報告

1) 佐賀豪雨災害に伴う佐賀 JRAT 活動報告

日時：令和元年9月5日（木）～令和元年9月12日（木）

2) 台風15号に伴う千葉県 JRAT の活動報告

日時：令和元年9月12日（木）～（活動中に台風19号が発生し、3）と併せて報告）

3) 台風19号に伴う千葉・福島・長野・岐阜・栃木・福島・山形 JRAT の活動報告

日時：令和元年10月～令和元年12月

4. 地域 JRAT 全国研修会

日時：令和元年11月30日（土）令和元年12月1日（日）

場所：東京都新宿区西新宿 新宿パークタワー 23階

内容：JRAT の現状、過去の災害での活動状況、組織化等について

出席者：日隈武治（大分県作業療法協会 副会長 / 大分 JRAT 事務局）

5. 令和元年度 JRAT 九州ブロック会議 in 熊本

日時：令和2年3月29日（日）

場所：熊本城ホール

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期

【研修講師等の実績】

- ・大分救急医学会 シンポジウム「南海トラフに備えて」

日時：令和2年2月8日（土） 場所：大分県医師会館

演題：南海トラフ地震への大分 JAT の備え

～被災した人々への心身の健康を支えるリハビリテーションを目指して～

シンポジスト：佐藤友美（湯布院病院 / 大分 JRAT 事務局）

4. おおいた食のリハビリテーション研究会 活動報告

本研究会は平成18年12月3日に発足し、令和元年6月現在での会員数は221名である。主な活動は年に2回の研修会と大分県社会福祉介護研修センターとの共催で実施している摂食・嚥下セミナーがある。また、おおいた食リハニュースを年数回発行している。

<令和元年度活動報告>

おおいた食のリハビリテーション研究会 総会・第25回研修会

「今さら聞けない食支援のあれこれ」

日 時：令和元年7月28日（日）

場 所：大分県社会福祉介護研修センター 大ホール

9：00～受付

9：30～総会

9：50～講演 第1部 「摂食嚥下へのリスク」氏

11：10～講演 第2部 「口腔機能から考える嚥下食～小児の発達過程を交えて～」

12：10 終了

講 師：大分県言語聴覚士協会顧問 日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員 森 淳一氏



第25回研修会 森 淳一氏

第13回摂食・嚥下セミナー（共催 大分県社会福祉介護研修センター）

目 的：人間の活力の源である「食事」は、おいしく口から食べるという楽しさだけではなく、脳を刺激し生きる喜びにも繋がります。しかし、病院や施設、在宅では「食」に関する何らかの問題を抱えている方は数多く、多職種協働のケアにおいては大きな課題となっています。そこで、摂食・嚥下機能の専門家による知識と技術を学んでいただき、チームとして質の高い支援を提供できる人材を育成するために開催しています。

日 時：1日目 令和元年5月24日（金） 開講式、摂食嚥下セミナーについて、嚥下障害への対応と支援、摂食嚥下障害概説

2日目 令和元年6月27日（木） 経口摂取確立のための呼吸・姿勢・摂食へのアシスト
摂食嚥下リハビリテーションⅠ～間接・直接訓練の実際～
エンド・オブ・ライフにおける食支援について

3日目 令和元年7月21日（日） 食べる喜びを支援する食事の介助、口腔について～口腔内評価と歯科的アプローチ～
摂食嚥下リハビリテーションⅡ～口腔ケアの実際～

4日目 令和元年7月31日（水） 栄養管理について、業者説明、認知症・高次脳機能障害者への食事支援

5日目 令和元年8月21日（水） 事例検討・事例報告・受講経験者からの報告・終了式

対象者：介護福祉士、ホームヘルパー、看護師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士、歯科衛生士、調理員等

会 場：大分県社会福祉介護研修センター 小ホール

共 催：大分県社会福祉介護研修センター、おおいた食のリハビリテーション研究会

おおいた食のリハビリテーション研究会 第26回研修会

「住み慣れたところでいつまでも元気に過ごすために！」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました

日 時：令和2年3月8日（日）

場 所：大分県社会福祉介護研修センター 大ホール

講演「多職種の知恵を活かすフレイル予防の地域づくり戦略～今、知っておきたいフレイルのこと～」

講師：東京大学大学院医学系研究会特別研究員 田中 友規先生

第13回摂食嚥下セミナー



グループ発表の様子



受講経験者からの報告

広報誌「おおいた食リハニュース」発行

○第36号 平成31年4月発行

特集 嚥下訓練の実際

第24回研修会の報告

おおいた「食リハ」第36号

おおいた
食リハ
ニュース

http://oishoku.com/
2019 第36号
発行日：平成31年4月
Oita Jyokui-News

特集 嚥下訓練の実際

前 回は、オーラルフレイルを特集しました。オーラルフレイルはフレイルの前段階の状態では口から食べ物をこぼす、②ものがうまく飲みこめない、③唾液が薄くなる等、といった軽微な異変を見逃した場合は、全身的な機能低下が進むことを示します。

さて、今回は嚥下訓練の実際を特集します。ご存知ですが、日本脳卒中学会が発行している脳卒中治療ガイドラインというものが、その中に嚥下障害に対する説明や訓練方法が記載されています。その中で嚥下障害に対する訓練方法を特集します。

日本脳卒中学会がガイドラインの中で勧めているものの中から抜粋すると、・・・・・・・・

- 脳卒中患者においては、嚥下障害が多く認められ、それに対し、嚥下機能のスクリーニング検査、さらに嚥下造影検査、内視鏡検査等を適切に行い、その結果を元に、栄養摂取経路（経管・経口）や食形態、姿勢、代償嚥下法の検討と指導を行うことが勧められる。
- 頸部前屈や咽壁、咽壁全卸刺激、メンデルゾーン手技、supraglottic swallow（鼻ごらえ嚥下）、頸

部前屈手技、ノドレーン検査法などの嚥下訓練は、検査所見や食事摂取量の改善などが認められ、効果が認められるとあります。ここでは、数ある訓練法の中で一部抜粋してご紹介させていただきます。

1. 鼻ごらえ嚥下

原理
嚥下中の咽頭を閉鎖と同時に、鼻腔に入り込んだ飲食物を嚥出す効果があります。嚥下動作前と嚥下動作中に声帯レベルでの気道閉鎖を確実にするために工夫された手技です。

主な対象者
嚥下中に誤嚥を来す、過応となる嚥下障害は声門閉鎖の遅延又は緩弱あるいは喉頭閉鎖下の遅延を認める方。

具体的方法
飲食物を口に入れたら、鼻から大きく息を吸って、しっかり息をこらえて、鼻から軽く“んー”と声を出したり、ハミングしたりして、飲食物を強くのみこみ、口から熱いよくなるまで、意識的に鼻ごらえをすることにより嚥下動作前から嚥下動作中に気道を閉鎖する。基礎訓練として用いる場合には嚥下と呼吸のパターン訓練となります。

大分県地域リハビリテーション 広域支援センター活動報告

<記載項目>

- ①圏域の特徴・令和元年度目標
- ②研修テーマ
- ③広域主催の主な研修内容
- ④地域での連携状況
- ⑤圏域での災害支援の協力体制について
- ⑥今後の課題

東部圏域 東国東地域



センター長
野邊靖基



担当窓口
中村晋也



【広域主催の主な研修内容】

日時：令和元年12月13日（金）18：30～20：30

ACP研修 「輝く人生を送るための意思決定支援研修会」

場所：ホテルベイグランド国東 アトレホール

講師：国東市民病院 院長・看護師長・介護支援専門員

※共催の開催・その他の研修会としては

市民公開講座、医師会講演会、ホットネット研修会、等開催

市民公開講座

日時：令和元年10月19日（土）14：00～16：00

「人生会議をご存じですか？」

～自宅や住み慣れた地域で最後まで過ごすために～

場所：アストくにさき アストホール

講師：やまおか在宅クリニック院長 山岡 憲夫 先生

杵築市ソーシャルワーカー 岡江 晃児 先生

ホットネット研修会

日時：令和元年7月16日（火）18：00～20：00

場所：武蔵保健福祉センター

講師：国東市社会福祉協議会・豊後高田市社会福祉協議会

①生活困窮者自立支援制度について

②日常生活自立支援事業（あんしんサポート）について

③くにさき半島地域成年後見支援センターについて

【地域での連携状況】

相談：「摂食嚥下・口腔ケア・介護・障害関係・歯科医療・その他」、随時対応中

共同利用：医療実習（医師、コ・メディカル、救急救命）・体験学習・研修会・勉強会等に随時使用中

講師派遣：出前講座を随時開催中、46件（内25件はリハビリ関係）

大分骨粗鬆症ネットワークR213 学術講演会に講師派遣（PT）

摂食嚥下障害について事業所へ講師（ST）派遣

地域支援事業への取り組み

（地域ケア会議において専門職介入を提案された困難事例に対応）

会議：ホットネット会議・月1回、事前会議・月1回

国東市在宅医療・介護連携推進運営会議および作業部会議への参加

その他、地域ケア会議・各審査会への参加・糖尿病（若葉の会）への取り組み

東部圏域 別杵速見地域



センター長
長 岡 博 志



担当窓口
神 河 宏 明



【圏域の特徴・令和元年度目標】

圏域内の各地域にリハビリ専門機関があり、医療・介護・福祉の様々な分野において機関ごとに様々な取り組みをおこない、地域住民をサポートする体制が整備されている。

今年度、各機関の専門職を対象に『認知症の方への接し方 ～治療・地域での支援～』の学びを目的とした研修会を開催することで各個人のスキルアップを支援し、地域での活動に活かしていただけるよう支援をおこなっていきたい。

【研修テーマ】

認知症の方への接し方、治療・地域での支援について理解する。

【広域主催の主な研修内容】

実施日：令和元年6月28日（金）

講習内容：『認知症の人と家族に今できること - 多職種協働の大切さ -』

講師：大分大学医学部附属病院 総合診療・総合内科学講座 吉岩 あおい 医師

対象：大分県内に勤務する医療・福祉・介護関係者等

受講者数：112名

【地域での連携状況】

○地域リハビリテーション活動・地域との具体的連携

地域ケア会議

別府市：9回（作業療法士）

日出町：3回（作業療法士）

国東市：5回（言語聴覚士）

別府市自立支援型サービス支援事業

43回（作業療法士28回 理学療法士15回）

共催研修会（後援）

大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会（令和元年9月8日（日）開催分）

【圏域での災害支援の協力体制】

大分 JRAT 研修会会場提供（令和元年9月28日（土）開催分）

【今後の課題】 -

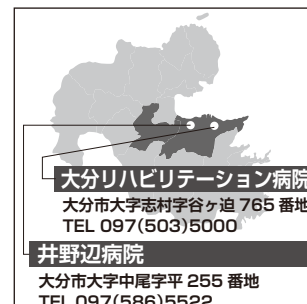
中部圏域 大分地域

大分リハビリテーション病院

センター長 山口 豊
担当窓口 渡邊 亜紀
担当窓口 遠山 文子
担当窓口 田島 景介

井野辺病院

センター長 井野邊 純一
担当窓口 佐藤 豊秀
担当窓口 佐藤 暁
担当窓口 岸本 周作
担当窓口 後藤 直哉



【圏域の特徴・令和元年度目標】

- ・研修会の企画運営、講師の派遣

【研修テーマ】

医療及び地域リハビリテーションの従事者が、最新の医療及びリハビリテーションの知識を得ることで、臨床現場への導入、新たな地域リハビリテーション体制を構築する発想の一助となることを留意する。

【広域主催の主な研修内容】

内容：講義：「最新の神経筋疾患の呼吸ケア・呼吸理学療法」

講師：^{よりもと}寄本 ^{けいすけ}恵輔先生

(国立精神・神経医療研究センターリハビリテーション科理学療法士主任)

日時：平成 31 年 4 月 26 日（金）19：00～21：00

受講者数 214 名参加

【地域での連携状況】

<会合出席> 2件

- ・大分市在宅医療・介護連携推進事業 市民公開講座「在宅医療と介護に関する講演会」へのスタッフ派遣
- ・大分市民公開講座及び「第1回運営委員会」及び「第2回運営委員会」出席

<パワーアップ教室実地支援～スタッフ派遣> 6件

- ・大分市パワーアップ教室 実施支援（にこにこフィットネス協会）
- ・大分市パワーアップ教室 実施支援（元気づくり支援研究会）
- ・大分市パワーアップ教室 実施支援（諏訪の杜病院）
- ・大分市パワーアップ教室 実施支援（リハフィットネス）
- ・大分市パワーアップ教室 実施支援（天心堂デイセンター）
- ・大分市パワーアップ教室 カンファ支援（諏訪の杜病院）

<講師派遣> 15件

- ・大分市桑原地区「口腔について」講師派遣
- ・大分市カームタウン野田地区「口腔について」講師派遣
- ・大分市深河内地区「介護予防について」講演派遣
- ・大分市花園地区「介護予防について」講師派遣
- ・二又地区「介護予防について」講師派遣
- ・山手区地区「介護予防について」講師派遣
- ・賀来校区公民館講演会「介護予防について」講師派遣
- ・大分市荏隈地区「口腔ケアについて」講師派遣
- ・地域包括支援センター主催 健康教室への講師派遣（3件）
- ・自治会主催 健康教室への講師派遣（3件）
- ・志村自治会主催 「防災教室」講師派遣

【圏域での災害支援の協力体制】

JRAT・ORAT への参画 ～該当活動なし

【今後の課題】

研修会の企画、運営に対する計画立案

中部圏域 白津地域



センター長
下田 勝 広



担当窓口
安 藤 真 次



白杵市医師会立コスモス病院
白杵市大字戸室字長谷 1131-1
TEL 0972(62)5599

【圏域の特徴・令和元年度目標】

現場で活躍するリハ職および医療介護従事者が、日常の関りの中で対象者の状態を判断し、再発予防や早期発見、生活の安定につながる力をつける。

【研修テーマ】

地域のリハ職および医療介護従事者のスキルアップ

【広域主催の主な研修内容】

①日 時：平成 31 年 4 月 23 日（火） 10：00～11：00

テーマ：「個人別リハプログラム指導」

講 師：白杵市医師会コスモス病院 理学療法士 安藤 真次

場 所：デイサービスセンター ひあたり良好

対象者：デイ利用者

対象者数：6名

②日 時：令和元年 8 月 16 日（金） 11：00～11：30

テーマ：「転倒予防について」

講 師：白杵市医師会立コスモス病院 理学療法士 直野 滉平

作業療法士 平山 玲実

場 所：コスモス病院 5階ラウンジ

対象者：南津留地区の地域住民

参加数：17名

③日 時：令和元年 8 月 21 日（水） 18：30～20：00

テーマ：第 55 回リハビリテーション勉強会

「ICF の考え方と活用」、「就労支援について」

講 師：Green Flash 作業療法士 釘宮 慎太郎

白杵市医師会立コスモス病院 作業療法士 真田 康孝

場 所：コスモス病院 大会議室

対象者：医療従事者

参加数：40名

④日 時：令和元年9月16日（月） 10：30～11：00

テーマ：「肩こり・嚙下体操について」

講 師：臼杵市医師会立コスモス病院 理学療法士 安藤 真次 直野 滉平

場 所：荒田地区公民館

対象者：敬老会対象者

参加数：18名

⑤日 時：令和元年10月10日（木） 19：00～20：00

テーマ：「腰痛予防と体操」

講 師：臼杵市医師会立コスモス病院 作業療法士 首藤 生実

場 所：臼杵市医師会立コスモス病院リハビリ室

対象者：臼津地区 ヘルパー

参加数：19名

⑥日 時：令和元年10月31日（木） 13：30～14：30

テーマ：転倒予防について

講 師：臼杵市医師会立コスモス病院 理学療法士 甲斐 友耀 直野 滉平

場 所：佐志生いきいきサロン

対象者：地域住民

参加数：6名

⑦日 時：令和元年11月8日（金）

テーマ：「認知症予防について」

講 師：臼杵市医師会立コスモス病院 作業療法士 井上 絵里加 平山 玲実

場 所：臼杵市医師会立コスモス病院

対象者：地域住民

参加数：14名（市役所職員1名）

⑧日 時：令和元年11月14日（木） 18：00～19：00

テーマ：「施設でできる運動プログラム」

講 師：臼杵市医師会立コスモス病院 理学療法士 三重野 陽一 本山 敦基

場 所：市浜コミュニティーセンター

対象者：施設スタッフ

参加数：23名

⑨日 時：令和元年11月15日（金） 11：15～12：00

テーマ：「転倒予防について」

講 師：臼杵市医師会立コスモス病院 理学療法士 佐藤 春花

場 所：上北地区コミュニティーセンター

対象者：地域住民

参加数：22名

⑩日 時：令和元年12月3日（火） 10：00～11：00

テーマ：「リハビリテーションにおける運動の指導」

講 師：臼杵市医師会立介護老人保健施設 南山園

作業療法士 池戸 睦美 首藤 生実

場 所：西海添憩いの家

対象者：地域住民

参加数：20名

⑪日 時：令和元年12月9日（月） 10：00～11：00

テーマ：「転倒予防について」

講 師：臼杵市医師会立コスモス病院 作業療法士 関 唯菜

場 所：浄光台いこいの広場

対象者：地域住民

参加数：17名

⑫令和2年2月18日（火） 13：30～14：30

テーマ：「農作業による腰痛予防について」

講 師：臼杵市医師会立コスモス病院 作業療法士 井上 絵里加、中嶋 萌々子

場 所：上北公民館

対象者：地域住民

参加数：15名

【地域での連携状況】

日本DMATと協力し南海トラフ地震が発生した場合を想定した実動訓練や臼杵市消防本部と連動した災害訓練を継続中。

近隣中学校へ被災イベントに参加し、「災害時の応急処置対応」の体験実習を実施。

【圏域での災害支援の協力体制】

JRATへの協力体制の整備

【今後の課題】

- ・住民主体の活動の場づくりの支援につながるような関わり方を継続して模索中
- ・臼津地域のリハビリテーション広域支援センターを担うスタッフの育成

南部圏域 佐伯地域



センター長
後藤 陽一郎



担当窓口
土谷 健治



【圏域の特徴・令和元年度目標】

特徴：包括支援センターと密に連携を取りながら、自立支援に向けた支援体制の拡充に取り組む
目標：ケアマネのアセスメント及びマネジメント力の向上
地域住民の通いの場の拡充

【研修テーマ】

地域住民に対し介護予防について啓発を行う。
既存のサービスの質的な向上を図る。

【広域主催の主な研修内容】

- ①自立支援ヘルパー実践力向上研修会
開催日：令和元年 11 月 6 日（水） 参加者数：ヘルパー 100 人 セラピスト 39 人
 - ②介護予防講演会 in 直川
開催日：令和元年 7 月 28 日（日） 参加者数：70 人
 - ③介護予防講演会 in 上浦
開催日：令和元年 12 月 1 日（日） 参加者数：55 人
 - ④介護予防講演会 in 鶴見
開催日：令和元年 12 月 8 日（日） 参加者数：65 人
- ※上記は全て佐伯市との共催

【地域での連携状況】

- ①研修会講師の依頼及び派遣調整。
- ②研修会の企画、広報及び開催を佐伯市と共同で実施。
- ③地域リハ活動支援事業への協力（スタッフの派遣及び多施設スタッフの派遣調整）
- ④高齢者にやさしい地域づくり協議会参加。
- ⑤佐伯市の通所及び訪問介護事業所各々の連絡会への参加及び協力

【圏域での災害支援の協力体制】

現時点では特に無し。

【今後の課題】

医療、介護サービス卒業後の受け皿の整備。（住民主体の通いの場の拡充）

豊肥圏域 大野地域



センター長
松尾 則 義



担当窓口
石丸 知 二



【圏域の特徴・令和元年度目標】

- ・ 地域住民及び施設職員からの相談対応
- ・ 地域包括ケア業務における行政との協力

【研修テーマ】

- ・ 研修計画なし

【広域主催の主な研修内容】

なし

【地域での連携状況】

- ・ 地域ケア会議アドバイザー調整
- ・ 各県研修会等の講師依頼時の調整

【圏域での災害支援の協力体制】

今年度はなし

【今後の課題】

豊肥圏域 竹田地域



センター長
大久保 健 作



担当窓口
甲 斐 恭 子



担当窓口
亀 井 英 孝



【圏域の特徴・令和元年度目標】

- ・医療・介護に関わる人材確保につながるとりくみ。
- ・昨年度は栄養についての研修を開催したので、健康や運動に関するテーマで計画する。
- ・防災についての知識や備えなどの啓発事業を計画する。
- ・地域住民に向けての研修・啓発事業を計画する。

【研修テーマ】

- ・医療・介護に関わる人材の腰痛予防や離職を減らす取り組み
- ・専門職のスキルアップ
- ・地域住民に向けた啓発活動

【広域主催の主な研修内容】

地域包括ケアシステム研修会 「ノーリフティングケア研修」

講師 阿南 貴将 氏（介護ショップあわや 大分中央事業所）

佐藤 浩章 氏（池辺陶器店）

他3名

（令和元年10月11日（金） 18：30～20：30 竹田市総合社会福祉センター

参加数：医療・介護・福祉従事者 50名）

地域包括ケアシステム研修会 「過去の災害から学ぶ災害対策」

講師 工藤 忠孝 氏（社会医療法人社団 大久保病院 救急災害対策管理責任者）

（令和2年2月13日（木） 18：30～20：00 竹田市総合社会福祉センター

参加数：医療・介護・福祉従事者 28名）

【地域での連携状況】

平成31年3月28日（木） 豊肥地区在宅医療推進協議会（1名参加）

令和元年度 健康長寿週1活動（KSK）事業 体力測定・運動指導

スタッフ派遣（3事業所 各1名×3回）

令和元年8月8日（木） 竹田市指定事業所等実践力向上研修会

スタッフ派遣（4名）

- 令和元年 10 月 11 日（金） 豊肥圏域竹田地域リハビリテーション広域支援センター 研修会
「ノーリフティングケア研修」 開催
- 令和元年 11 月 10 日（日） 第 1 回竹田市福祉健康フェスタ
スタッフ派遣（4 名）
- 令和元年 12 月 10 日（火） 城原地区 健康福祉の集い
スタッフ派遣（2 名）
- 令和 2 年 2 月 13 日（木） 豊肥圏域竹田地域リハビリテーション広域支援センター 研修会
「過去の災害から学ぶ災害対策」 開催

【圏域での災害支援の協力体制】

なし

※令和 2 年 2 月 13 日（木）、圏域の医療・介護・福祉従事者に対する防災研修を実施

【今後の課題】（研修会にて提案された課題含む）

- ・ スポーツフェスタなど、地域住民に向けての啓発活動
- ・ 若い方～お年寄りまでできるフレイル予防体操・体操の取り組み
- ・ 運動や栄養についての啓発
- ・ ノーリフティングケア研修の追加開催（導入施設の報告など）
- ・ 竹田市や多職種との連携強化
- ・ ケアマネージャー向けの研修企画（ケア会議での他職種の視点など）
- ・ 精神・身体障害者支援についての取り組み
- ・ 竹田市（圏域）の地域の特徴など
- ・ 広域支援センターでの防災についての取り組み（啓発活動）
- ・ 災害対策についてもう一度ききたい、机上訓練でもよいので避難訓練をしたい
- ・ 医師がいない場合の緊急時の対処法についての知識などを知ってもらう。
- ・ 災害発生後、けが人が出たとき、看護師としてどうするべきか学びたい。
- ・ BLS や、身近にある物での対応を考えるような研修
- ・ 実際に炊き出し訓練を実施（高齢者の様々な摂食状況を想定して）
- ・ 10 年先の竹田市のことを考え、地域でできること、あったらいいサービスなどをグループワークで考えてみる。

西部圏域 日田玖珠地域



センター長
林 田 良 三



担当窓口
諫 山 昌 寿



担当窓口
三 木 征 博



【圏域の特徴・令和元年度目標】

行政・他職能団体との顔の見える関係を維持し、在宅医療・介護の連携推進を図る。

【研修テーマ】

『認知機能からみる自動車運転支援』～高齢者、脳損傷者の自動車運転をどのように支援するか～
令和2年1月31日（金） 19：00～21：00 済生会日田病院にて開催

【広域主催の主な研修内容】

（講 師）医療法人 畏敬会 井野辺病院 作業療法士 加藤 貴志 氏
（対 象）行政・医療・福祉関係者など 参加人数 80 名 内、日田警察署 交通課より 2 名参加
対象は主に脳損傷者の内容でしたが、後半では高齢者運転の現状と問題点についてもお話しいただきました。世情的にもタイムリーな話題ということで、当センターでの研修会としては多くの方のご参加をいただきました。質疑応答では、日田警察署の方からもお言葉をいただき、とても有意義な時間となりました。

【地域での連携状況】

地域リハビリテーション活動・地域との具体的連携・会議（回数）・共催の研修会・相談、施設利用

（1）会議出席

- ①日田市在宅医療連携会議（2名：月1回：日田市医師会主催）
- ②西部圏域介護予防検討会（1名：令和元年11月26日（火）：西部保健所主催）
- ③地域ケア会議（日田市）／PT 4名・OT 1名を派遣して計8回出席予定

（2）相談・施設利用

特になし

（3）講師派遣

平成30年度に開催した自立支援型通所サービス研修会（1月と2月：デイサービス事業所2カ所）の効果がどこまであったかの効果判定を、今年度6月・7月の地域ケア会議にて振り返りを行った。（PT 1名・OT 1名参加）

【圏域での災害支援の協力体制】

今年度はなし

【今後の課題】

特になし

北部圏域 中津地域



センター長
川島 真人



担当窓口
島澤 真一



担当窓口
杉木 知武



【研修テーマ・内容】

- 健康教室（計8回 講師：当院 Dr・Ns・PT・管理栄養士 参加者各回約50名）
健康で自立した生活をするために（令和元年5月18日（土））
医師・看護師・リハビリスタッフによるリウマチ教室（令和元年6月29日（土））
健口になる口腔リハビリ・ケア（令和元年7月20日（土）） 手のお話（令和元年8月17日（土））
元気いきいき週一体操（令和元年9月14日（土）） 健康寿命をのばそう（令和元年11月16日（土））
食べる事は生きる事（令和2年1月18日（土）） 足の付け根の骨折（令和2年2月29日（土））

【地域での連携状況】

- 市民公開講座 骨と関節の日（令和元年10月14日（月） 中津文化会館）
当院 Dr 1名・Ns 4名・PT 6名・OT 1名・MSW 2名・放射線技師1名派遣 参加者約150名
医療相談・ロコモ対策の体操指導・超音波骨密度測定



- 転倒予防教室（PT 派遣 大幡地区18回） 令和2年3月～休止
- 中津市役所地域ケア会議助言者調整・派遣（各月 PT・OT 派遣 令和元年6月～令和2年2月 10名）
- 中津市寄り合いの場への運動指導士派遣（6回 PT・OT 派遣 中津市内・本耶馬溪・耶馬溪・三光・山国）
- 中津市運動で健康づくり推進員養成講座 元気ハツラツ教室講師（PT 派遣 令和元年9月25日（水））
- 高齢者骨折地域連携パス作業部会（3回 PT・OT 参加 平成31年4月20日（土） 令和元年8月3日（土） 令和元年12月14日（土））
- 中津市地域包括支援センター運営協議会（PT 1名出席 令和元年7月4日（木））
- 中津市在宅医療・介護連携推進協議会（PT 1名出席 令和元年9月30日（月））
- 中津市在宅医療・介護連携推進協議会評価検討部会（3回 PT 1名出席 令和元年5月16日（木） 令和元年7月30日（火） 令和元年11月19日（火））

【圏域での災害支援の協力体制について】

- 県リハセンター・各協会への協力体制の整備

北部圏域 宇佐高田地域



センター長
中原成浩



担当窓口
小野秀幸



【圏域の特徴・令和元年度目標】

市町村事業と連携し、リハビリテーションの視点で北部圏域在宅医療介護連携推進を図る

【広域主催の主な研修内容】

テーマ：慢性疼痛の発生メカニズムとその対応策について

【講師】田中 創 氏（福岡整形外科病院）

日時：令和元年11月1日（金）

19：00～21：00（18：30～受付）

場所：佐藤第一病院 3階会議室

参加者数：90名

内容：基本的な痛みの神経メカニズムと痛みが慢性化するメカニズムについて解説頂き臨床での具体的な評価・治療について紹介がありました。非常に内容が深く、参加者も熱心に聴講する姿が見られました。ナイトセミナーにも関わらず90名の参加があり、非常に興味深い内容であったことが見受けられます。



【地域での連携状況】

- 1) 地域ケア会議助言者派遣調整
～宇佐市、豊後高田市
- 2) 地域ケア推進会議（宇佐市） 実施件数：2回
- 3) 地域ケア会議助言者派遣（宇佐市）実施件数：4回、（豊後高田市）実施件数：6回

- 4) 一般市民介護予防教室等 講師派遣 (宇佐市、安心院町、院内町) 実施件数：20 回
- 5) 市民向け研修会、従事者向け研修会等 講師派遣 実施件数：4 回
- 6) 北部圏域在宅医療・介護連携推進会議参加 実施件数：2 回
北部圏域難病患者療養支援検討会参加実施件数：1 回
- 7) 介護予防・日常生活支援総合事業 人材派遣調整 (宇佐市)
～元気アップ訪問事業 実施件数：1 件

【圏域での災害支援の協力体制】

広域支援センター内 BCP 計画書の作成開始

【今後の課題】

圏域内での災害支援体制の確立のため、行政機関や他団体との連携体制の構築に向け、継続的に取り組んでいく。また各種依頼に対しての人的支援体制の確立に向け準備を進めていきたい。

県内地域リハビリテーション専門職能団体 (拡大運営会議構成団体) 活動報告

<記載項目>

①会の現状

②地域リハ関連の活動・取り組み

③地域リハ活動における課題・今後の展開

一般社団法人 大分県医療ソーシャルワーカー協会



会長
脇坂 健史

1. 協会の現況

<正会員数> 282名（令和2年3月31日時点） 賛助会員 9団体

<執行部> 会長・副会長・理事 計15名

<令和元年度理事会> 5回

基本方針

スローガン：『みんなで成長の輪を広げよう！』

- ①「協会員参加型」「地域活性化」の協会運営
- ②教育および人材育成体制の充実・強化
- ③広報活動の強化（協会活動の啓発）
- ④地域貢献活動・災害支援活動
- ⑤経営の健全化・安定化

<研修部活動>

【初任者研修開催 令和元年5月24日（金）・令和元年6月29日（土）・令和元年7月27日（土）
令和元年8月24日（土）・令和元年11月30日（土）】

目的：実務経験が3年未満のソーシャルワーカーが相談支援専門職としての価値・視点を学び、基礎及び標準的な能力を習得する

【中堅者研修開催 令和2年1月19日（日）】

目的：実務経験3年程度のソーシャルワーカーがこれまでに得た専門的知識・技術を実践に置き換えることにより、より高い実践力を得ることを目指す。また、スーパーバイザーや中堅者に向けた準備としての基礎の振り返りを行う

<学術部活動>

社会資源活用ワークショップ 開催日：令和元年8月29日（木）自立支援医療（参加者50名）

学術部制度改正レポートの配信 随時 計13回配信（メール、Facebook）

<ネットワーク推進部活動>

○地域活性化会議（通称：Smile Meeting）の実施「身寄りの無い方の支援」をテーマに各地区のMSWより事例発表を行いその後グループワークを実施。

①東部地区開催日：令和元年7月20日（土）

②豊肥地区開催日：令和元年10月5日（土）

③南部地区開催日：令和2年2月15日（土）

○リレー・フォー・ライフ大分2019への参加

令和元年9月21日～22日で開催予定であったが台風の影響で中止

○大分県保険医療団体協議会主催「元気フェア」への参加

開催日：令和元年11月10日（日） 場 所：大分県社会福祉介護研修センター

<広報部活動>

- ①ホームページを活用した活動情報の発信
- ②メールマガジンの普及と情報発信
- ③ Facebook の運用、管理
- ④ LINE の活用広報誌の発行

<特命班活動>

- ①会員満足度調査アンケート（令和元年7月下旬～8月下旬）
- ②会員満足度調査アンケート集計・結果速報・分析
- ③ MSW 協会新年会

2. 地域リハ関連活動取組（下記内容に伴う会議について省略）

- ・地域リハビリテーション・ケア研究大会・大分大学社会福祉科学講座
- ・大分市在宅医療・介護連携会議

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

医療と介護の連携をはじめ、地域リハビリテーション、地域包括ケア推進における地域連携において医療ソーシャルワーカーが求められる役割は大きい。当協会においては、個人を支援するうえで最も重要となる個人の価値を尊重し、自己決定における支援を進める視点を持ち、地域生活の実現へ向けた支援を進めていくソーシャルワーカーの育成に寄与し続けることで地域の福祉向上の一端を担って行きたいと考えています。

公益社団法人 大分県栄養士会



会長
土谷 洋子

I. 会の現状

1. 栄養士会は管理栄養士・栄養士の資格を有し7つの職域分野にわかれ専門職として活躍している。栄養の日（8月4日）・栄養週間（8月1日～8月7日）と定め「栄養の大切さ」を理解していただくために実践活動し地域社会に貢献している。

会員数 801名（令和2年3月31日現在）

職 域 分 野	(1) 学校健康教育	53名	支 部	大分	(大分市・由布市)
	(2) 公衆衛生	61名		別府	(別府市)
	(3) 教育・研究	35名		東部	(日出・国東・杵築)
	(4) 勤労者支援	10名		北部	(宇佐・中津・豊後高田)
	(5) 地域活動	161名		豊肥	(竹田・豊後大野)
	(6) 医療	299名		南部	(佐伯・臼杵・津久見)
	(7) 福祉	182名		西部	(日田・玖珠)

2. 「県民の健康維持増進に貢献する」を目的に、生涯教育や7つの職域分野ごとの研修会を毎年開催し、「栄養・食生活」に関して支援が出来るように、資質・技術の向上を目指している。
3. 事業については、総務部・事業部・栄養ケア・ステーション部・広報部にわかれ理事がそれぞれ担当し円滑に運営できるよう社会のニーズに合わせた活動を展開している。

II. 地域リハ関連の活動・取組

1. 研修会

- ① 生涯教育 年間12回開催 延べ1,178名参加
- ② 大分県リハ職等スキルアップ研修会（地域ケア会議アドバイザー強化研修）

月日	演 題	参加人数
9/28 (土)	・地域介護予防マニュアル ・佐々町における地域包括ケアシステム構築にむけた取り組み ・管理栄養士・栄養士のためのやさしく学べるEBN ～健康情報・栄養疫学の理解と実践に向けて～	63
9/29 (日)	・大分市自立支援型ケアプラン相談会における助言について (個別地域ケア会議) ・ユマニチュードはなぜ有効なのか ・在宅医療の実際・訪問診療と高齢者の栄養問題	69
10/13 (日)	・地域づくりによる介護予防の展開 ～機能向上から社会参加までのアプローチ～ ・言語聴覚士から見た食支援の在り方 ・症例報告・検討（高齢者の食欲不振・ペグ増設の対象者・他疾病等難しいと感じた対象者）	78
11/16 (土)	・ペグの取り扱い方、最近のペグについて ・対象者とのコミュニケーションについて ・糖尿病交換表を利用した栄養価計算 ～エネルギー、蛋白質、脂質計算～	68

2. 関係会議・研修会運営等への出席

- ①大分地域リハビリテーション研究会運営部会
- ②大分地域リハビリテーション研究会役員会
- ③大分県地域リハビリテーション支援センター拡大運営会議
- ④おおいた食のリハビリテーション研究会担当国会議
(栄養士会・言語聴覚士会・歯科衛生士会・介護福祉士会)
・第24回合同研修会・総会(令和元年7月28日(日))
- ⑤大分県保健医療団体協議会(11団体)
・第20回げんきフェア(令和元年11月10日(日)) 栄養の相談件数 174名
- ⑥大分県社会福祉介護研修センターへの協力
・介護職員現任者研修(訪問・通所介護事業所サービス計画担当者研修)
・福祉施設管理栄養士・栄養士研修会(令和元年6月18日(火))
・調理担当者研修会(令和元年6月13日(木))
・摂食・嚥下セミナー

3. 活動

- ①高齢者サロン「おむすびカフェ」の開設 令和元年度参加者 116名
- ②無料電話相談 8件

Ⅲ. 人材派遣

1. 地域ケア会議多職種助言者派遣事業(17市町村 回数437回 管理栄養士79名)
2. 各市町村介護支援事業への協力(講義、講話、調理実習等)
3. 宇佐圏域、北部圏域研修会への協力(講義、講話)
4. 大分県後期高齢者医療広域連合派遣事業
(訪問栄養相談248名、生活習慣病重症化予防受診勧奨136件)

Ⅳ. 地域リハ活動における課題

1. 高齢者の低栄養の改善・疾病の重症化予防(医療と介護との連携による在宅支援)
2. 地域ケア会議での栄養ケア・マネジメントに対する多職種の理解
3. 専門職としてのスキルアップ、管理栄養士の視点の統一
4. 在宅認知症に対する理解

Ⅴ. 地域リハ活動における今後の展開

1. 栄養ケア・ステーション事業の充実
 - ①在宅訪問栄養指導の必要性
・多疾患を有する高齢者に対して医師、歯科医師、薬剤師、ヘルパー、ケアマネージャー等と連携を図りながら対応する必要があることを痛感している。
・医療・介護・在宅の連携を密にして、介護予防にも繋がる訪問栄養指導の実現
 - ②電話無料相談の周知と事業の拡大
・乳幼児・妊産婦・障がい者(児)・若い世代男女に関する食生活全般
2. 会員に対するスキルアップ研修会の実施
3. 県民の公衆衛生に関する各事業に参加協力し、社会的責務を果たす

NPO 法人 大分県介護支援専門員協会



理事長
工 藤 修 一

特定非営利活動法人 大分県介護支援専門員協会は、「介護保険制度が利用者主体の制度として確立されるよう、専門的知識及び技能を研鑽し、介護支援専門員の資質及び社会的地位の向上に努めることにより、公正・中立なケアマネジメントの実現を目指し、県民の健康と福祉の向上に寄与すること」を目的として、平成18年2月に設立された団体です。現在、1,034名の会員が在籍し、県下15支部協議会が組織化されています。

基本方針

- 1) 介護支援専門員の専門的資質及び職業倫理の向上
- 2) 介護支援専門員の自主的、自立的職能団体の確立のための研修会などの開催
- 3) 各地域の介護支援専門員協会が行う自主的な活動を支援
- 4) 介護支援専門員の社会的地位の確立
- 5) 介護保険の円滑な実施とサービスの向上に寄与すること

令和元年度活動内容

1) 協会の運営

- | | |
|----------|-----|
| ①総会の開催 | 年1回 |
| ②理事会 | 4回 |
| ③相談窓口の設置 | 随時 |

2) 組織強化

- ①新規会員の獲得、未加入地域の入会促進
(会員数推移 平成27年:393名、平成28年:547名、平成29年:763名、平成30年:1,010名)
- ②各地域協議会と連携し介護支援専門員の支援体制を強化
- ③日本介護支援専門員協会及び九州・沖縄ブロックとの連携
- ④事務局体制の整備

3) 研修・広報の概要

- ①大分県指定事業である「市町村ケアプラン点検等アドバイザー事業」実施
- ②当協会作成の「ケアマネジメントプロセス支援マニュアル」が法定研修や市町村ケアマネジメントプロセス研修等で活用される。
- ③県協会と各地域協共同での「災害時ケアマネジメント支援研修」の開催
- ④日本協会社員総会開催に係る「議事運営委員会」への委員派遣、及び、日本協会常置委員会「総

務・組織・会員委員会」への委員派遣

- ⑤令和元年厚生労働省老人保健健康増進等事業「介護支援専門員の資質向上に資する研修等のあり方に関する調査研究事業」に関し、法定研修（主任更新）モニター試験の協力
- ⑥令和元年厚生労働省老人保健健康増進等事業「居宅介護支援及び介護予防支援における平成30年度介護報酬改定の影響に関する業務実態の調査研究事業」に関しタイムスタディ調査協力
- ⑦大分県（高齢者福祉課）と大分県社会福祉協議会（大分社会福祉介護研修センター）とで「大分県介護支援専門員研修向上委員会」の設立準備に取り組み令和2年度より設置されることとなった。
- ⑧県内で地域組織のなかった杵築市において、「杵築市介護支援専門員協会」の設立にむけ共同で取り組んだ。

4) 関係団体との連携事業

主 催	名 称
大分県福祉保健部 高齢者福祉課	大分県高齢者福祉施策推進協議会
大分県福祉保健部 高齢者福祉課	介護支援専門員法定研修講師連絡会議
大分県福祉保健部 高齢者福祉課	大分県介護予防市町村支援委員会
大分県福祉保健部 高齢者福祉課	大分県医療・介護連携推進協議会
大分県福祉保健部 医療政策課	大分県在宅医療連携委員会
大分県福祉保健部 健康づくり支援課	大分県難病医療連絡協議会
大分県福祉保健部 障害福祉課	大分県高次脳機能障がい者相談支援体制連携調整委員会
大分県医師会（大分県地域保健協議会）	大分県地域保健協議会 高齢者介護小委員会
大分大学大学院	大分大学福祉科学講座実行委員会
大分県リハビリテーション支援センター	運営委員会
大分県リハビリテーション支援センター	大分災害リハビリテーション推進協議会
大分県地域リハビリテーション研究会	大分県地域リハビリテーション研修会
大分県社会福祉介護研修センター	運営委員会
大分県社会福祉介護研修センター	福祉用具部会
大分県社会福祉介護研修センター	日常生活自立支援事業関係連絡会
大分県小児科医会	おおいた医療的ケア児等支援関連施設連絡会

介護支援専門員は地域の利用者の自立支援のため日常生活全般における総合的な支援をする“対人援助専門職”であります。それ故に介護支援専門員の職能団体としての組織力をより強化し、県内の介護支援専門員の一人ひとりの意見集約に努め、その役割を十分に担える環境を整備すること、そして、利用者の自立支援に繋がるケアマネジメントに対して高い評価が得られるよう積極的に活動を行うことが非常に重要であると考えられます。今後も行政及び各職能団体の皆様のご理解とご協力を賜り協会運営に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

連絡先

大分県介護支援専門員協会事務局

〒 870-1133

大分県大分市宮崎 1367 番地 1 甲斐ビル 215 号

電話 097-504-7500

FAX 097-504-7501

一般社団法人 大分県介護福祉士会



会長
田 中 努

I. 協会の現状

令和2年6月1日現在 会員数 1,140名

組 織	支 部
○専門研修部 ファーストステップ研修 基本研修 実習指導者講習会 技能実習指導員講習 行動援護従業者養成講習会	日出（別府市、日出町、杵築市、国東市、豊後高田市） 大分（大分市） 由布（由布市） 臼杵（臼杵市、津久見市） 佐伯（佐伯）
○学術研究部 通年研修	豊後大野（豊後大野市、竹田市）
○研 修 部 主催研修会の企画立案・実施	宇佐（宇佐市、中津市）
○教育研究部・講師養成事業 福祉の心醸成事業 出前講座 講師養成・講師派遣	日田（玖珠町、日田市）
○調 査 部 会員のニーズの調査等	
○広 報 部 広報誌「豊後梅」発行等	
○渉外事業部	

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

主催研修

- 第1回研修会 令和元年6月16日（日）映画「ケアニン～あなたでよかった～」上映 参加者 50名
- 第2回研修会 令和元年11月30日（土）「認知症について」タウンミーティング 参加者 71名
- 通年研修 令和元年6月20日（木）・令和元年9月20日（金）・令和元年12月19日（木）
参加者合計 87名
- 技能実習指導員講習 令和元年10月23日（水） 参加者 47名
- 行動援護従事者養成研修 令和元年12月14日（土）・15日（日）・令和2年1月18日（土）・19日（日）
参加者 11名
- 福祉・介護人材確保助成事業 出前講座（県下福祉系高校への介護技術講座） 実施6回
 - ・大分県立大分南高等学校2回 令和元年11月1日（金）・11日（月）
 - ・大分県立佐伯豊南高等学校1回 令和元年7月5日（金）
 - ・日本文理高等学校1回 令和元年6月13日（木）
 - ・大分東明高等学校2回 令和2年1月29日（水）・令和2年2月25日（火）
- 大分県社会福祉介護研修センター協力事業「子どものための福祉講座」年12回 講師人数 47名
- 大分市社会福祉協議会協力事業「福祉講座」令和元年6月～令和元年12月13回 講師人数 36名
- 宇佐市社会福祉協議会協力事業「出前授業」令和元年7月～令和元年11月5回 講師人 5名
- 由布市社会福祉協議会協力事業「福祉体験教室」令和元年10月1回 講師人数 1名

○実習指導者養成講習会の実施

第1G 令和元年7月10日(水)・11日(木)・令和元年8月24日(土)・25日(日) 受講者21名
第2G 令和2年2月13日(木)・14日(金) 受講者42名

○介護福祉士国家模擬試験 令和元年12月8日(日) 受験者10名

大分県地域リハビリテーション支援センター関連

○大分県地域リハビリテーション支援センターの活動

・第16回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会 令和元年7月28日(日)
テーマ：地域で支える認知症 スタッフ参加

○大分県地域リハビリテーション研究会の活動

・第8回大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会
令和2年1月25日(土)・26日(日) B-Con Plaza 3F 国際会議室 テーマ：原点回帰

○大分県社会福祉介護研修センター摂食・嚥下セミナー 講師派遣 令和元年7月21日(日)

講師派遣1名

各種委員会への委員派遣

- ・大分県地域リハビリテーション研究会・大分県排尿リハビリテーションケア研究会
- ・大分県契約締結審査委員会・大分県ボランティアネットワーク委員会
- ・大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会・大分県災害ボランティアネットワーク運営委員会
- ・大分県老人福祉計画策定委員会・大分県社会福祉介護研修センター運営委員会
- ・大分県社会福祉介護研修センター福祉用具専門部会・介護認定審査会・大分県医療適正化推進協議会委員
- ・大分県国民健康保険運営協議会委員・大分県介護予防市町村支援委員会・大分県認知症施策推進委員会
- ・大分県福祉人材確保推進協議会・福祉人材確保推進会議・大分県地域包括ケア研究会
- ・脳卒中懇話会世話人会・豊後大野市高齢者虐待防止ネットワーク連絡会
- ・大分県介護ロボット普及促進協議会・大分県作業療法協会
- ・おおいた食のリハビリテーション研究会・大分市在宅医療、介護連携会議委員会
- ・「人材不足分野における人材確保のための雇用管理改善促進事業（介護分野）」に係わる啓発実践委員会
- ・教育過程編成委員会・日田市在宅医療連携会議委員会・おおいた介護ロボット等導入促進協議会
- ・大分県高齢者福祉施策推進協議会・大分県社協第四次中長期活動計画「だいふくプラン2019（仮称）策定委員」

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

介護福祉士による職能団体としての社会的使命を自覚し、変化する社会構造に対応しつつ、高い専門性・職業倫理を持ち、地域の人々の人権を尊重し、更なる社会的認知を得ていく諸活動を展開するために次の基本方針を掲げる。

- ・介護福祉士の専門性の向上を図るため、会員個々の更なる自己研鑽やそれを支える基盤づくりを強化するとともに、地域に根ざした介護実践を支援する。
- ・実践力のある介護福祉士の職能団体として、多様化・複雑化している介護ニーズに応じていくため関係機関・団体との連携強化を推進する。

公益社団法人 大分県看護協会



会長
大 戸 朋 子

I. 大分県看護協会の現状

- 1 会員数は 10,003 名。(令和 2 年 3 月末現在)
- 2 看護職の資質向上のための教育・研修、看護職が働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開など 8 つの事業を行うことにより、時代の変化と人々のニーズにあった安全で質の高い看護の提供をめざし、地域社会に貢献している。
- 3 事業は、職能委員会 (4) 常任委員会 (10)、特別委員会 (5) の 19 委員会および県下を下記 11 の地域に分けた地区活動により展開している。
 ①国東 ②別府・杵築・日出 ③大分中央 ④大分東部 ⑤大分西部 ⑥臼杵・津久見 ⑦由布 ⑧豊後大野・竹田 ⑨中津・宇佐・豊後高田⑩佐伯 ⑪日田・九重・玖珠地区での活動
 * 地区活動：施設代表者会議等看護の連携推進事業、地区研修事業 (DVD の教材を提供)、看護の日事業等の地区活動事業を実施。

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

< 教育・研修事業 >

協会内で行う主な事業として、看護職の資質向上のための研修事業があり、令和元年度は、年間 130 研修・延 337 日実施し、受講者数は延 12,104 人。

1) リハビリテーション関連研修の実施状況

主なりハビリ関連研修

於) 大分県看護研修会館

	研 修 名	開催日・受講者数 (人)
1	最新の脳血管障害患者の治療と看護	1/26 (日) 43
2	在宅の看護実践能力を高める講習会 ～在宅看護に必要な最新の排痰ケアと呼吸理学療法	10/12 (土) 20
3	摂食嚥下障害患者の看護 ～口から食べることをサポートする看護実践～	11/15 (金) 51
4	摂食嚥下障害患者の看護<中津・宇佐・豊後高田地区へ出張研修> ～口から食べることをサポートする看護実践～	11/16 (土) 25
5	摂食嚥下障害患者の看護<杵築・区Bに東地区へ出張研修> ～口から食べることをサポートする看護実践～	11/17 (日) 41
	計	5回 180

< 県民の健康づくりの活動 >

1 げんき教室

毎月第 4 水曜日 14:00～15:30 計 11 回

会場：大分県看護研修会館 対象：中・高齢者等 (一般)

参加者：延 822 人

2 「まちの保健室」開催

各会場で血圧・体脂肪測定・血管年齢測定・骨密度測定・健康相談等を実施

①すこやか家族博覧会 於) コンパルホール 1 日 (令和元年 9 月 16 日 (月)) 来場者 906 人

②大分市おおいた食と暮らしの祭典 於) ガレリア竹町 1 日間 (令和元年 10 月 5 日 (土))

来場者 延 378 人

③「人とみどりふれあいいち」

於) 平和市民公園 3 日間 (平成 31 年 4 月 3 日 (水)・平成 31 年 4 月 9 日 (火)・平成 31 年 4 月 15 日 (月))

来場者 延 145 人

- ④大分県立図書館 2日間（令和元年5月26日（日）・令和元年10月27日（日））
来場者 延 219人
- ⑤「げんきフェア」 於）大分県社会福祉介護研修センター 1日（令和元年11月10日（日））
来場者 260人
- ⑥あすびあフェスタ 於）大分県身体障害者福祉センター 1日（令和元年10月27日（日））
来場者 121人

- 3 「2019年度看護フォーラム」（看護の日・看護週間事業）
テーマ「看護の心をナイチンゲールに学ぶ」
日時 令和元年5月12日（日） 13:00～15:00 参加者 78人
・「ふれあい看護体験」 96施設・参加者 450人

<会議等>

- 1 大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会
期 日：令和元年7月28日（日）
会 場：別府国際コンベンションセンター
テーマ：地域でささえる認知症
参加者：95名 ←*病院等の看護職および看護協会から1名参加
- 2 大分県地域リハビリテーション研究会研修会
期 日：令和2年1月26日（日）
会 場：別府ビーコンプラザ
テーマ：原点回帰
参加者：116名 ←*病院等の看護職および看護協会から4名参加
- 3 運営部会に担当者4回出席

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

令和2年度地域リハ関連の活動・取り組み

<教育・研修事業>

- 1) リハビリテーション関連研修
- ①リハ関連研修を継続する。在宅ケア領域の看護ケア能力均てん化推進事業としては、大分県看護研修会館で実施する研修と同じ内容の研修を地域に出張し行い、看護職の資質向上に取り組む。今年度は由布・玖珠・九重地域と臼杵・津久見・佐伯地域を予定している。
- ②在宅での療養者のための訪問看護等に関する事業を強化
県民が最期まで安心して在宅療養が送れるようにリハビリを含む質の高い訪問看護サービスや地域包括ケアが実施できるように取り組む。また、教育実習機関として、学生の訪問看護実習を受け入れる。

<県民の健康づくりの活動>

- 1) げんき教室 12回開催
- 2) 「まちの保健室」開催 6種類のまちの保健室開催予定
①すこやか家族博覧会 ②大分市食と暮らしの祭典 ③人とみどりふれあいいち
④大分県立図書館 ⑤げんきフェア ⑥あすびあフェスタ
- 3) 「2020年度看護フォーラム」（看護の日・看護週間事業）
日時：令和2年5月10日（日）に予定していたが、新型コロナウイルス感染症対応により延期
特別講演：「死にゆく人の心に寄り添う」～生き方と逝き方を考える～のテーマで、講師は玉置妙憂氏。スティーロパンの演奏

<会議等>

- 1) 大分県リハビリテーション支援センター拡大運営会議
- 2) 大分県地域リハビリテーション研究会
・大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会
・役員会、運営部会
- 3) 大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

公益社団法人 大分県言語聴覚士協会



会長

木村 暢夫

I. 協会の現状

- 1) 会員数及び施設数（令和2年3月31日現在）
会員数：335名 ※約7割が大分、別府に集中している
施設数：101施設
- 2) 構成：事務局（総務部、財務部、災害対策部）
社会局（生涯学習部、広報部、福利厚生部）
事業局（医療保険部、介護保険部、障害保健福祉部、地域活動推進部）

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

- 1) 言語障がい友の会「なし会」関連
 - ①第18回なし会総会
日時：令和元年6月9日（日）10：00～14：00
場所：由布市湯布院町 海洋センター B & G 会議室
内容：なし会総会、交流会等
 - ②なし会忘年会
日時：令和元年11月17日（日）11：00～14：00
場所：玖珠郡九重町 東飯田公民館
内容：レクリエーション・交流会・食事会
 - ③各ブロック会への参加
回数：8ブロック計18回
場所：各ブロックで決定
内容：交流会、食事会、情報交換会等
 - ④啓発活動
 - ㊦言語障がい者の集い in 大分（※コロナ感染拡大防止の為中止）
日時：令和2年3月8日（日）10：00～
場所：全労災ソレイユ
内容：講演「笑顔の授業」
 - ㊧なし会パンフレットの作成 2000部
 - ⑤なし会ホームページの運営
内容：各ブロックで随時更新
- 2) 失語症会話サポーター養成講座
日時：令和2年2月2日（日）
場所：J:COM ホルトホール大分 303 会議室
内容：失語症会話サポーター養成
参加者：70名（一般住民、看護師、介護福祉士、相談員、歯科衛生士等）
- 3) げんきフェアへの参加
第20回げんきフェア
日時：令和元年11月10日（日）
場所：大分県社会福祉介護研修センター
内容：研修センター祭りとの共催で、医団協の啓発、相談、体験コーナーを実施
参加者：約1000名（一般市民他）

4) 大分県地域リハビリテーション関連

①第16回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

日 時：令和元年7月28日（日）10：00～14：50

場 所：別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 3階国際会議場

内 容：テーマ「地域で支える認知症」（講演、シンポジウム）

②第8回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会

日 時：令和2年1月26日（日）9：30～16：00

場 所：別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 3階国際会議場

5) おおいた食のリハビリテーション研究会

第26回研修会（※コロナ感染拡大防止の為中止）

日 時：令和2年3月8日（日）10：00～11：30

場 所：大分県社会福祉介護研修センター 大ホール

内 容：「多職種の知恵を活かす『フレイル予防』の地域づくり戦略」

6) 5歳児発達相談会・巡回相談への派遣

・中津市 ～ 5歳児発達相談会：4回

・豊後高田市 ～ 乳幼児精密検査：4回

・杵築市 ～ 5歳児発達相談会、巡回相談会：7回

・日田市 ～ 5歳児発達相談会：3回

・由布市 ～ 巡回相談、ことばの発達相談：6回

・別府市 ～ 5歳児発達相談会：3回

7) リハ関連団体及び県・行政との連携

①大分 JRAT 関連会議参加：参加回数3回

②2019年度介護予防職員育成推進事業研修 サービス計画担当者研修 講師派遣：派遣回数6回

③2019年度介護予防職員育成推進事業研修 介護職員現任者研修 講師派遣：派遣回数2回

④2019年度大分市パワーアップ教室 講師派遣：派遣回数4回

⑤2019年度大分県リハビリテーション専門職団体協議会研修会

・大分県地域ケア会議アドバイザー強化初任者研修会（8回）、現任者研修会（7回）

⑦2019年度 竹田市総合事業等実践力向上研修会講師派遣

⑧「地域の介護予防活動支援マニュアル」研修会講師派遣 派遣先：日出町、中津市、臼杵市

⑨地域ケア会議助言派遣 派遣先：中津市、宇佐市、国東市、竹田市、佐伯市、杵築市

III. 学会開催

第20回日本語聴覚学会 in おおいた

テーマ：「私たちの地域包括ケア ～言語聴覚士の専門性と人間力の融合～」

会 期：令和元年6月29日（土）、30日（日）

場 所：iichiko 総合文化センター、全労済ソレイユ、大分県立美術館

参加者：1950名（市民公開講座参加者含む）

IV. 地域リハ活動における課題・今後の展開

昨年度開催いたしました「第20回日本語聴覚学会 in おおいた」におきましては、全国より1900名を超える参加をいただき、盛会に終えることができました。開催に協力いただきました県内関係諸機関・団体の皆様に、本誌をお借りして心より厚く御礼申し上げます。

今年度は思いがけず新型コロナウイルスによる深刻な感染症の問題を抱えることとなり、地域住民の生活をはじめ、協会事業と様々な場面にまで影響が及んでいます。未だ予断を許さない状況ですが、皆様方と一致団結してこの苦難を乗り越えていきましょう。

引き続き、地域のニーズや行政機関からの要請に対して柔軟に応えることができる職能団体として、大分県の地域リハビリテーション活動に貢献していきたいと考えております。宜しくお願い致します。

一般社団法人 大分県公認心理師協会 (大分県臨床心理士会)



会長

小 野 貴美子

1. 会の現状

正会員 263名 (令和2年4月末 現在)

〔部門〕 災害、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働、研修、渉外、事務局

2. 地域リハ活動の報告

(1) 会議への参加

- ・第17回 拡大大運営会議 *出席：小野 貴美子会長
日 時：令和元年6月18日(火) 14:00～16:30
場 所：JCHO 湯布院病院 保健学習棟3階 研修室
- ・大分県地域リハビリテーション研究会 役員会議・運営会議 井野辺病院
役員会：年1回(出席：北吉 直子) 運営部会：年2回(出席：羽坂 雄介)

(2) 研修会の参加・発表

- ・第16回 大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会 合同研修会 *出席：羽坂 雄介(湯布院病院)
日 時：令和元年7月28日(日)
場 所：別府ビーコンプラザ
テーマ：地域で支える認知症
- ・第9回 大分県リハビリテーション・ケア研究会 研究大会
*出席：羽坂 雄介(運営部員・口述発表座長)
日 時：令和2年1月26日(日)
場 所：別府ビーコンプラザ
テーマ：原点回帰
※前日の交流会参加：羽坂雄介、宗申也、北吉直子
※2019(令和元)年度(第10回)日本臨床心理士会団体会員 医療保健領域担当者研修会
日 時：令和2年2月24日(月・祝) 10:30～16:00 →コロナウイルス流行により中止

(3) 自主研修会の開催

- ・「大分保健医療心理研究会」を発足し、事例検討会を2回開催した。
日 時：第1回目：令和元年 9月6日(金) 19:00～21:00 26名参加
第2回目：令和元年 12月6日(金) 19:00～21:00 14名参加

※第3回目：令和2年 3月6日（金）19：00～21：00→コロナウイルス流行により中止
場 所：農協共済別府リハビリテーションセンター 体育館2階研修室
・大分リハビリテーション心理研究会 年11回開催

(4) その他

・令和元年10月：令和元年度保健医療分野アンケートをWeb上で実施。

3. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

平成30年9月に、国家資格「公認心理師」の第1回目の試験が実施され、令和元年度から「公認心理師」が誕生いたしました。それに伴い当協会は、令和元年度より「一般社団法人 大分県公認心理師協会」として活動を開始しています。会員は公認心理師と臨床心理士とで構成される団体となり、あらたに公認心理師の資格を得た会員も加わってきています。今後、より会員の層を厚くし、地域で貢献できる活動を模索検討していきたいと考えています。皆様のお知り合いで公認心理師資格を取られた方がいらっしゃいましたら、当会をご紹介いただければ幸いです。

当協会会員は、病や障がいを抱える人々に対してこころのケアを担います。地域リハ活動においては、特に生活を視野に入れた関わり（心理的支援、家族支援、地域医療や在宅に携わるスタッフへのメンタルサポートなど）を強化し地域医療・福祉サービスを担う一員となれるよう、また「地域包括ケアシステム」や「アウトリーチ活動」などにチームの一員として参加し地域リハビリテーション活動に参入していけるよう活動していく所存です。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止によるストレスはかなり大きく、今後県民に対して幅広く協会として寄与していける活動を考え、実施していきます。

令和2年度もより一層他職種との協働と連携を図り、地域で必要とされる職種を目指して努力していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

公益社団法人 大分県作業療法協会



会長
高 森 聖 人

I. 協会の現状（令和2年3月31日現在）

正会員数 1,084 名（うち自宅会員 67 名、休会者 29 名）／所属施設数 237 施設
賛助会員 4 団体、有識者理事 6 名
支部：大分中央、大分東、大分西、大分南、東部、西部、南部、北部、豊肥

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

啓発・普及事業

- 作業療法一日体験 令和元年7月～令和元年8月
参加者：県内高校生 254 名
- 中学校の「職場体験」への協力 平成31年3月～平成31年4月
対 象：市町村教育委員会
(中学校の「職場体験」受入可能施設の把握と市町村教育委員会への情報提供)
- 市民公開講座 令和2年1月18日(土) 参加者：157 名
- 作業療法ミニフェスタ
 - 日出町「城下カレイ祭り」 令和元年5月11日(土) 来場者：約 400 人
 - 日田市「市民健康福祉祭り」 令和元年5月13日(日) 来場者：約 100 人
 - 豊後高田市「高田こどもフェスタ」 令和元年10月27日(日) 来場者：約 100 人
 - 佐伯市「交通安全フェスタ」 令和元年10月27日(日) 来場者：約 100 人
 - 国東市「国東ふるさと祭り」 令和元年10月27日(日) 来場者：約 100 人
 - 日田市「リハビリサミット」 令和元年11月3日(日) 来場者：約 100 人
 - 大分市「春日まつり」 令和元年11月10日(日) 来場者：約 350 人
 - 豊後大野市「ふるさとまつり 2019」 令和元年11月10日(日) 来場者：約 80 人
- ジョブカフェおおいた 職業人講話 別府鶴見ヶ丘高等学校 令和元年6月24日(月) 参加者：18 名
- 健康・子育て応援「すこやか家族博覧会 2019」作業療法コーナー設置 令和元年9月16日(月) 来場者：約 250 名
- 「大分大学開放イベント 2019」作業療法コーナー設置 令和元年11月4日(月) 参加者：50 名
- 「大分県社会福祉介護研修センターまつり&げんきフェア 2019」作業療法コーナー設置 令和元年11月10日(日) 来場者：約 150 名

研修会等

- 第23回大分県作業療法学会
テーマ「変化～新時代を彩る作業療法～」
令和2年1月19日(日) 参加者：192名
- 障害者スポーツ研修会
令和2年2月27日(木) 参加者：10名
- 制度対策研修会
令和元年12月12日(水) 参加者：39名
- 作業療法実践セミナー
(全2回) 参加者：延べ95名
- 生活行為向上マネジメント研修会基礎研修
(全2回) 参加者：延べ33名
- 生活行為向上マネジメント研修会実践者研修
(全2回) 参加者：延べ10名
- 発達支援事業に係る人材育成研修会基礎編
(全4回) 参加者：延べ117名
- 発達支援事業に係る人材育成研修会応用編
(全2回) 参加者：延べ49名
- 認知症アップデート研修会(基礎編, 応用編, 報告会)
参加者：延べ115名
- 大分県地域ケア会議アドバイザー強化初任者研修(全8回)・現任者研修(全7回)
(主催：大分県, 大分県リハビリテーション専門職団体協議会)
- 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会
(全2回) 参加者：延べ192名
(主催：日本作業療法士協会・日本理学療法士協会・全国リハビリテーション学校協会)

人材派遣等

- 市町村の地域ケア会議等への助言者及び広域支援員の推薦・派遣
 - 大分県地域ケア会議他職種派遣事業に係る助言者の推薦・派遣
派遣先：16市町／派遣者：58名／派遣回数：228回
 - 大分県地域ケア会議広域支援員派遣事業に係る広域支援員の推薦・派遣
推薦者：リーディングコーディネーター3名, リーディングアドバイザー5名
派遣先：2市／派遣者：3名／派遣回数：12回
- 市町村等の介護認定審査会委員の推薦
推薦先：6市／推薦者：18名
- 豊後高田市乳幼児精密検診事業への人材派遣
派遣者：2名／派遣回数：6回
- 杵築市母子保健事業への人材派遣
派遣者：2名／派遣回数：7回
- 由布市親子教室(運動編)への人材派遣
派遣者：2名／派遣回数：6回
- 別府市こどもへの発達相談会への人材派遣
派遣者：2名／派遣回数：3回
- 竹田市合理的配慮推進事業への人材派遣
派遣者：1名／派遣回数：4回
- 由布市介護予防事業への人材派遣
派遣者：5名／派遣回数：5回
- 大分県高齢者福祉施策推進協議会への人材派遣
派遣者：1名
- 大分県医療・介護連携推進協議会への人材派遣
派遣者：1名
- 別府市地域ケア連携システム会議への人材派遣
派遣者：1名
- 地域づくりによる介護予防推進会議への人材派遣
派遣者：1名
- 各種研修会等への講師等派遣
 - 大分県内
派遣先：34事業／派遣回数：61回
 - 大分県外
派遣先：3事業／派遣回数：3回
- 大分JRATの災害リハビリテーション支援活動への協力
- 豊後大野市認知症初期集中支援チームへの人材派遣
派遣者：1名／派遣回数：12回

その他

● 広報誌「伝 DEN」の発行

- No.24 テーマ「生活行為向上マネジメント」 令和元年8月26日（月） 2,700部
- No.25 テーマ「発達障害児の就学支援」 令和2年2月28日（金） 2,700部

● 関連諸団体との連携

- 関連諸団体の理事，監事，委員，世話人等
- 各種委員会・会議等への出席
- 事業企画・運営への協力等

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域包括ケアの推進、地域共生社会の実現に向けて、県や市町村、地域からの様々な協力依頼が年々増加するなか、職能団体として最も重要な課題は各種の要請に応えられる人材をそれぞれの地域で確保し、その質を担保していくことである。

地域ケア会議や介護予防事業等に関する人材育成については、大分県リハビリテーション専門職団体協議会（大分県理学療法士協会・大分県言語聴覚士協会・大分県作業療法協会）として県から受託した研修会を企画運営するとともに、当協会独自の研修会等を実施して引き続き取り組んでいく。市町村の母子保健事業や地域の特別支援学校、放課後児童クラブ（学童保育）など「子ども」の領域に関する協力依頼に対しては、発達支援事業に係る人材育成研修（基礎編・応用編）に加え、日本作業療法士協会後方支援による研修会を実施していく。

将来の地域リハ活動を支える人材の確保・育成という点においては、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の改定による臨床実習指導者の要件変更に伴う、厚生労働省指定臨床実習指導者講習会を継続的に開催し、一定数の臨床実習指導者を確保していくことが必要である。

一般社団法人 大分県歯科医師会



会長
長尾博通

1. 会の現状

会員数：619名（令和2年5月現在）

地域福祉委員会が介護保険、高齢者・障がい者歯科保健、在宅歯科医療、医療連携の関連分野を担当している。

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

* 老人保健施設訪問歯科保健事業（令和元年5月27日（月））

老人保健施設・福祉施設を大分県歯科衛生士会と大分県歯科技工士会と共に訪問する。口腔内検診、歯科保健指導や口腔ケア、義歯のネーム入れ、また施設職員を交え入所者の口腔衛生管理の問題点を話し合う。令和元年度は、中津市の「いずみの園かきぜサポートセンター内 サマリア館」を訪問した。

* 高齢者のよい歯のコンクール（令和元年7月13日（土））

口腔の衛生管理に努力し、80歳で20本以上自分の歯を保持している健康な方を表彰することで、口腔の健康の重要性を県民にアピールしている。令和元年度は優秀賞5名、優良賞9名を選出し表彰した。

* 歯科医師認知症対応力向上研修会（令和元年8月3日（土））

「認知症の人と家族に今できること～生活習慣病、骨粗鬆症、フレイルとの関連～」として大分大学総合診療・総合内科学講座、診療教授の吉岩あおい先生に、「認知症の人の口を支える視点：受診を断わる理由にしないために」として東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科部長の平野浩彦先生にご講演をいただいた。

* 障がい者歯科保健研修会の開催（令和元年11月2日（土））

令和元年度の研修会は、「障害者歯科診療における地域中核センターと歯科医院・診療所との連携について」として梅花女子大学看護保健学部口腔保健学科、教授の森崎市治郎先生にご講演いただいた。また、大分県口腔保健センター歯科医師の天野郁子先生がセンターの紹介を行った。

* 介護保険対応歯科保健研修会の開催（令和元年2月22日（土））

介護の中での歯科保健を視野に入れた講演会を開催している。令和元年度の研修会は、看取りコミュニケーション講師、看護師 後閑愛実先生をお招きし、「いのちの終わりの向き合い方」とい

う演題でご講演いただいた。

***障がい者歯科協力医育成事業（令和元年10月～令和2年2月、月1度）**

障がい者歯科治療を行える地域協力医を育成し、大分県口腔保健センターとの連携を通じ、障がい者歯科医療の充実を図ることを目的として令和元年度より開始。臨床実習、障がい者施設を訪問しての集団検診を実施した他、『「障害者（児）への対応」～歯科診療で行う行動変容の技法と見極め～』として、医療法人福泉会みずほ内科・歯科クリニック副院長 加藤喜久先生にご講演いただいた。

***障がい児者施設歯科健診事業（令和元年11月～令和2年2月）**

障がい児者に対する歯科健診の機会を確保し、あわせて歯科保健指導を行うことにより障がい児者の健康の保持増進に資することを目的として、令和元年度は障がい者施設6件を訪問した。

***各種委員会、協議会、研修会への参加**

- ・大分県リハビリテーション協議会
- ・大分県介護予防市町村支援委員会
- ・豊の国8020運動推進協議会
- ・大分県障がい児・者歯科保健検討部会 等

3. 地域リハ活動における課題、今後の展開

- ①大分県口腔保健センターにて障がい者歯科地域協力医育成事業を行い、障がい者歯科高次医療機関である大分県口腔保健センターと地域歯科医院との連携を整備する。
- ②認知症施策では、歯科医師対象の認知症対応力向上研修会を行っている。本県の現状を把握し、多職種との連携強化を図る。
- ③がん診療拠点病院と地域歯科医院の連携事業は7年目に入った。拠点病院へ歯科介入の有用性をさらに周知頂き、地域歯科医院との連携を強化する。
- ④平成29年に大分県と締結した「災害時における被災者の医療救護に関する協定」に基づき、災害時に歯科医師を迅速に派遣し歯科支援活動を行なうと共に、災害コーディネーターを担える人材育成に努めていく。

一般社団法人 大分県歯科衛生士会



会長
有松 ひとみ

I. 協会の現状 会員数 285名（令和2年4月26日現在）
3支部 県南地区（佐伯・津久見・臼杵）豊肥地区（竹田・豊後大野）日田地区

II. 地域リハ関連の活動・取り組み
II-1 主催事業

令和元年度 一般社団法人 大分県歯科衛生士会 研修会一覧

【地域ケア会議アドバイザー育成研修会①認知症対応】

日時	内容	講師	人数
令和元年5月18日（土） 16:00～18:00 ホルトホール大分	認知症サポーターフォローアップ講座 ～共に暮らすために～	王子・大分西地域包括支援センター 大石 英弘氏	17名

【地域ケア会議アドバイザー育成研修会②摂食嚥下】

令和元年6月2日（日） 10:00～12:50 ホルトホール大分	歯科衛生士から学ぶ歯科衛生ケアプロセス	九州歯科大学 下坂 桃子氏	57名
	病態別の摂食嚥下リハビリテーション	九州歯科大学 口腔保健学科地域・ 多職種連携教育ユニット 藤井 航教授	

【eラーニング研修】

令和元年7月20日（土） 16:00～17:30 ホルトホール大分	《医療安全管理》 医療安全の考え方 医療安全管理に対する法律制度 院内感染対策	DVD 出演 小林 隆太郎先生 内川 喜盛先生	30名
---	---	-------------------------------	-----

【地域ケア会議アドバイザー育成研修会③母子事業】

令和元年9月7日（土） 15:30～17:30 西部公民館	いつまでも元気で過ごすために 今取り組むこと	大分市保健所 管理栄養士 内梨 友子先生	25名
-------------------------------------	---------------------------	-------------------------	-----

【歯周病研修会】

令和元年12月1日（日） 9:20～12:50 大原学園 研修室	歯周病予防の定期メンテナンス時の 口腔内外チェック	歯科衛生士 薄井 由枝先生	75名
--	------------------------------	------------------	-----

【地域ケア会議アドバイザー育成研修会④リフレッシュ】

受講料：無料

令和元年12月15日（日） 9:40～12:50 ホルトホール大分	「伝える・伝わる・コミュニケーション術」 院内の人間関係に悩まないための 3つのポイント	株式会社トゥモローリンク 歯科臨床コンサルタント 濱田 智恵子氏	30名
---	--	--	-----

【大分県歯科衛生フォーラム 2019】

令和元年10月6日（日） 9:50～15:30 男女参画プラザ アイネス	“歯科衛生士の明日を拓く” 歯周病・周術期管理・ 小児口腔機能・災害対応 エキスパート歯科衛生士から学ぶ 私たちだからできること	熊本県健康福祉部長寿社会局 認知症対策・地域ケア推進課 楠田 美佳氏	88名
		がん感染症センター都立駒込病院 看護部主任歯科衛生士 池上 由美子氏	
		ランチョンセミナー ライオン株式会社 諸星 裕也氏	
		日本歯科大学口腔リハビリテーション 多摩クリニック 水上 美樹氏	
		藤華歯科衛生専門学校 歯科衛生部長 麻生 清子氏	

【地域ケア会議アドバイザー育成研修会⑤障害者対応】

令和2年1月11日(土) 14:30～16:30 大分県歯科医師会館	地域で診る障害者歯科 ～私たちにできること～	大分県口腔保健センター 天野 郁子先生	17名
--	---------------------------	------------------------	-----

【復職支援 リカバリーセミナー】

令和2年2月9日(日) 10:00～14:00 大分県歯科医師会館	リカバリーセミナー研修会	大分県歯科医師会 大分県歯科衛生士会	16名
---	--------------	-----------------------	-----

【県委託事業】

令和2年2月23日(日) 9:30～12:40 ホルトホール大分	家に行こう! 歯科医院に来られない患者さんをどうするの	九州歯科大学 泉 繭依先生 阿蘇さずな歯科医院 我那覇 生純先生	35名
--	--------------------------------	-------------------------------------	-----

【地域ケア会議アドバイザー育成研修会⑥報告会】

令和2年2月23日(日) 9:30～12:40 ホルトホール大分	県内18市町村の現状と課題を徹底討議 ～地域ケア会議助言者からの報告～	大分県歯科衛生士会 会員	17名
--	--	--------------	-----

II-2 後援・協力研修会 【抜粋】

- ①大分県地域包括ケア推進大会 令和元年12月19日(木) 別府ビーコンプラザ国際会議場
- ②大分県在宅医療・介護連携全体研修 令和元年8月24日(土) 別府ビーコンプラザ国際会議場
- ③第16回大分県地域リハビリテーション研究会、県リハ支援センター合同研修会
- ④第8回大分地域リハビリテーション研究会研修会 令和2年1月26日(日)
- ⑤第25回おいした食のリハビリテーション研究会研修会 令和元年7月28日(日)
- ⑥大分県保健医療団体協議会 (担当会:大分県栄養士会)
令和元年11月10日(日) 大分県介護研修センターまつり&元気フェア2019
- ⑦TOSすこやか家族博覧会 令和元年9月16日(月:祝)

II-3 講師等派遣 【抜粋】

- ①地域包括ケアシステム推進事業 (県内・県外) 及び17市町村地域ケア会議助言者
- ②大分圏域介護予防事業及び口腔機能向上事業
- ③障がい児(者)施設含む県内市町村の母子事業及び地域支援事業
- ④大分県市町村圏域リハ職等派遣事業

II-4 会議出席 【抜粋】

- ①地域リハビリテーション関係 役員会 運営委員会
- ②行政関係 (県及び市町村)
大分県8020運動推進協議会 大分県口腔機能向上栄養専門部会
大分県介護予防市町村支援委員会 各市町村母子保健委員会
大分県介護医療推進協議会 各保健所地域歯科保健検討会 他

II-5 大分県歯科医師会(協力) 高齢者・障がい者訪問事業 啓発事業

- ①令和元年5月25日(土) 中津総合支援センター いずみの園(中津市)
- ②令和元年6月9日(日) 歯と口の健康週間(大分市2会場) 来場者811名
- ③令和元年11月8日(金) いい歯の日キャンペーン(大分駅前)
- ④令和元年12月21日(土) 障害者支援施設 なおみ園(佐伯市)

II-6 大分市内小中学校 歯科保健指導事業

II-7 ボランティア活動

- ①別府市西別府病院 口腔ケアボランティア活動
- ②大分県域支援学校歯みがき指導ボランティア
- ③認知症カフェ関連 大分県歯科衛生士会主導「手をつなごう」(大分市田原)

III. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

令和2年は、切望しておりました学生会員47名の入会を迎える記念すべき年となりました。世界各国はもとより国難に遭遇している現在の我が国においても、新しい生活様式に変えていく方向性が求められる中、柔軟性や多様性を兼ね備えた人材育成が重要であることは明確です。歯科衛生士の未来を拓いていく若い力は希望となり、更なる一歩に向けてのターニングポイントとなることを願ってやみません。

地域リハビリテーション活動の理念である『地域で暮らす人々のその人らしい幸せを支える』の実現には多職種が関り、それぞれの分野からアプローチが不可欠と考えます。全国の先陣をきってすすめてきた“大分県地域包括ケア”の真価が問われる今、一翼であり続けるためにも、口腔健康管理という専門性を強みとして活動してまいります。

大分県視能訓練士会



会長

亀井久典

1. 会の現状

会員数 166 名（令和 2 年 5 月 1 日現在）と 2011 年に会を発足以来、毎年わずかながら会員数も増え、視覚機能の検査や訓練、障がいのケア、健診業務を行う専門職として勉強会、研修会を開催した。また、コロナウイルス状況を受け、勉強会、研修会の中止をする事もあったが、代わりに Web での理事会を行う事や勉強会を Web 開催にて行う予定も組むなど今回の状況に対応する事で、新しい取り組みも出来た。

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

〈他団体との共催・後援事業〉

- ・第 16 回大分県リハ支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会 合同研修会

日 時：令和元年 7 月 28 日（日）10：00～14：50

場 所：別府ビーコンプラザ 3 階 国際会議場

テーマ：これからの認知症対策

スタッフにて参加

- ・大分県看護協会 げんき教室

日 時：令和元年 8 月 28 日（水）13：00～15：30

場 所：大分県看護協会

内 容：講話「目の健康」

講師として参加

- ・アイフェスタ in 大分

日 時：令和元年 9 月 22 日（月・祝）10：00～16：00

場 所：ホルトホール大分

内 容：大分県眼科医会主催、眼に関する団体が集まったイベント

眼の簡易検査コーナーにて眼の検査を実施

館内の案内、誘導の担当

- ・センターまつり&げんきフェア 2019

日 時：令和元年 11 月 10 日（日）10：00～15：00

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：眼の健康チェック、パネル展示（ブース来場者 約 170 名）

- ・第 8 回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会

日 時：令和 2 年 1 月 26 日（日）9：30～15：30

場 所：別府ビーコンプラザ 3 階 国際会議室

テーマ：原点回帰

一般演題、およびスタッフにて参加

〈主催の研修会〉

・第12回勉強会および総会

日 時：令和元年6月9日（日）9：45～12：30

場 所：ホルトホール大分

内 容：

(1) 講演

「外来で活用できるメガネの知識」

山中 健一氏（眼鏡士）

参加者：62名

・第13回勉強会

日 時：令和元年8月25日（日）9：45～12：30

場 所：ホルトホール大分2階 セミナールームL

内 容：

(1) 講演

「コンタクトレンズについて」

(株) クーパービジョン・ジャパン

参加者：28名

・第14回勉強会

日 時：令和元年12月8日（日）9：45～12：15

場 所：ホルトホール大分2階 セミナールームL

内 容：

(1) 講演

「明日から出来るロービジョンケア」

田中 拓司先生（たなか眼科、院長）

(2) 一般演題

「バングラデシュ人の角膜形状の検討」

高橋 慎也（出田眼科病院、視能訓練士）

「急性内斜視10例に対するPrism adaptation testと手術成績」

松永 健司（大分大学医学部附属病院、視能訓練士）

「抑制除去訓練を行った一例」

亀井 久典（高木眼科医院、視能訓練士）

参加者：31名

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

昨年度に続き、大分県眼科医会主催のイベント（アイフェスタ）に参加し、視覚障がい者や視覚に関わる他団体と交流ができました。多くの会員がボランティアスタッフとして参加し、少しずつではあるが、視能訓練士として地域に貢献するという意識が出てきているのではないかと感じております。その意識を生かせるよう、引き続き会員が地域に貢献できる場を提供できるように考えていきたいと思っております。ただ一方で会員全体に地域リハ活動における理解が十分とは言えず、協力をしてくれる参加者が決まってきたため、これからも地域リハ活動の周知を行っていききたいと思います。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

会長

雨宮 洋子

1 会の現状

会員センター 56センター

- ・地域包括支援センター 50センター
- ・在宅介護支援センター 2センター
- ・地域総合相談支援センター 4センター

2 主な活動・取り組み

(1) 研修会等の開催

① 令和元年度大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター第1回研修会

期 日 令和元年10月31日(木)

会 場 大分県総合社会福祉会館 4階 大ホール

参 加 54名

内 容 講義・演習：「心理学に基づいた円滑な相談業務の方法
アドラー心理学の活用

～総合的で効果的な相談援助法～

講師：大分メンタルヘルスネット 代表 中村 廣光 氏

② 令和元年度大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター第2回研修会

(大分県老人福祉施設協議会と共催)

期 日 令和2年1月14日(火)

会 場 大分県総合社会福祉会館 4階 大ホール

参 加 45名(包括協会員7名・老施協会員38名)

内 容 講義：「おもてなしの心とマナー研修」

講師：筑波大学客員教授 江上 いずみ 氏

(2) ブロック活動

各市町村ブロック組織での研修会や介護等の活動に対する支援

3 情報提供

他機関が実施する各種研修会への参加案内

4 関係機関・団体との連携

(1) 県内関係機関・団体との連携

県内関係機関・団体の会議等への出席

(2) 県との協調・支援

(3) 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会との協調・支援

大分県地域リハビリテーション研究会



会長

武居 光雄

I. 研究会の現状

- 会長：武居 光雄
- 副会長：三浦 晃史（田中 努）、有松 ひとみ
- 幹事：各団体より代表者1名
- 監事：長岡 博志、高畑 智浩
- 顧問：根橋 良雄、原田 禎二、本田 昇司
- 名誉顧問：佐竹 孝之
- 所属団体：16団体

大分県地域リハ医師懇話会	(公社)大分県理学療法士協会
(公社)大分県作業療法協会	(公社)大分県言語聴覚士協会
(公社)大分県看護協会	(公社)大分県薬剤師会
(公社)大分県栄養士会	(公社)大分県放射線技師会
(公社)大分県臨床検査技師会	(公社)大分県臨床工学技士会
(一社)大分県歯科衛生士会	(一社)大分県介護福祉士会
(一社)大分県医療ソーシャルワーカー協会	(一社)大分県公認心理師協会
大分県介護支援専門員協会	大分県視能訓練士協会

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

①第16回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会の開催

日時：令和元年7月28日（日）

会場：別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 3F 国際会議室

参加者：184名

テーマ：『地域で支える認知症』

➤ シンポジウム

テーマ：

『高齢運転者をどう支援する？～活動・参加を維持し、地域でいきいきと暮らすために～』

シンポジスト①：大分県警本部 交通部 運転免許課 講習補佐 衛藤 文彦氏

シンポジスト②：NPO 法人えんしゅう生活支援 net/ 作業療法士 建木 健氏

シンポジスト③：さわやか九州1ブロックインストラクター/社会福祉士 宮田 太一郎氏

アドバイザー：鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座 教授 浦上 克哉氏

座長：大分県地域リハビリテーション研究会 副会長 三浦 晃史

②第8回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会交流会の開催

日時：令和2年1月25日（土）

会場：カルチアパーク

参加者：47名

招待者：第8回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会
シンポジスト：(一社)日本筋ジストロフィー協会大分県支部 早野 真弓氏

③第8回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会の開催

日 時：令和2年1月26日(日)

会 場：別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza 3F 国際会議室

参加者：116名

テーマ：『原点回帰』

➤ 基調講演

「原点回帰 ～大分県地域リハビリテーション研究会の果たすべき役割と今後の展望～」

演 者：大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居 光雄

司 会：大分県地域リハビリテーション研究会 運営部長 井野邊 純一

➤ シンポジウム

テーマ：『医療・福祉・介護の専門職に望むこと』

シンポジスト① (一社)日本筋ジストロフィー協会大分県支部 早野 真弓氏

シンポジスト② (公社)日本リウマチ友の会大分支部 松本 富士子氏

シンポジスト③ 大分県脊柱靭帯骨化症友の会 高橋 浩一氏

司 会：大分県地域リハビリテーション研究会 副会長 田中 努

大分県地域リハビリテーション研究会 事務局長 平岡 賢

➤ 一般演題：口述発表10演題

④名義後援

➤ 第20回日本言語聴覚学会(令和元年6月28日(金)・29日(土))

➤ 第37回大分県病院学会(令和元年11月17日(日))

➤ 第55回日本理学療法学術研修大会2020in おおいた
(令和2年5月23日(土)・24日(日) 後援予定)

⑤広報誌の発行

第26号：メール及びWEB配信(令和2年3月31日発行)

⑥運営部会の開催

第1回：平成31年4月19日(金)

第2回：令和元年7月9日(火)

第3回：令和元年9月3日(火)

第4回：令和元年11月11日(月)

⑦役員会の開催

第31回：令和元年7月8日(月)

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

令和という新元号を迎え、当会も創立18周年を迎えました。今年は『原点回帰』をテーマに「第8回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会」を開催いたしました。今回の研究大会では、患者の立場から医療従事者へ望むこと・求めることなど、患者の生の声が聞けたことで、当会においても、また医療従事者としても、初心を振り返る良い機会となりました。

昨今、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行は世界各国の社会や経済のみならず医療福祉にも大きな影響を与えています。日本においても、感染拡大予防と秋以降に予想される第2波への対策など大変な時期であります。今こそ、医療・福祉・保健に携わる多職種が力を合わせ、連携を深めて、それぞれの立場から地域の住民を支えられるように、力を尽くすことが重要と考えます。その一助となるよう当研究会も尽力していく所存です。

一般社団法人 大分県病院協会



会長

川 眞 人

I. 協会の現状

1. 病院協会の現状（令和2年3月31日現在）

(1) 会員数 126 病院

(2) 構 成

- ・会 長 川 眞 人（川 眞 人 整形外科病院）
- ・副会長 畑 洋 一（畑 病 院）
- ・副会長 小 寺 隆（佐伯中央病院）
- ・地区毎の理事、及び所属病院数
 - 県北（所属病院数 23） 理事 川 眞 人、佐藤 仁一、瀧上 茂
 - 別杵（所属病院数 23） 理事 畑 洋 一、黒木 健次、山本 記顯、内田 明宏
 - 大分（所属病院数 46） 理事 武居 光雄、井野邊 純一、帆秋 善生、秋満 忠郁、立川 洋一
 - 久大（所属病院数 20） 理事 山本 亨、山下太郎
 - 豊肥（所属病院数 4） 理事 大久保 健作
 - 県南（所属病院数 10） 理事 小 寺 隆、曾根 勝
- ・監 事 豊田 貫雄、長松 宜哉
- ・顧 問 岡 宗由

2. 活動の重点項目

- 1) 医の倫理とリスクマネジメントの高揚
- 2) 各病院の診療機能を活かした質の向上と効率化の徹底
- 3) 行き届いた患者サービスの向上と思いやりのある医療を目指す
- 4) 各病院の IT 化と IT ネットワーク情報システムの構築
- 5) 患者中心の連携システムの向上
- 6) 地域リハビリテーションの推進
- 7) 病院機能評価への挑戦と対応
- 8) 各種研修会による全病院職員の質的、能力的向上、責任を持って仕事を遂行する意欲の向上
- 9) 会員相互の親睦と信頼性、連帯感の向上
- 10) 来るべき大災害に対して十分に備える医療
- 11) 地域包括ケアシステムの構築に備える
- 12) 地域医療介護総合確保基金（医療分）に対する取り組み
- 13) 働き方改革に備える
- 14) 更なる質の向上を目指して病院学会を成功させる

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

A. 病院協会の活動報告

1. 令和元年度一般社団法人大分県病院協会 定時社員総会
 - ・開催日時 令和元年6月22日(土) 午後3時
 - ・場 所 レンブラントホテル大分 2F 二豊の間(大分市田室町9-20)
 - ・特別講演 「地域包括ケアと病院」 参加者 61名
2. 理事会 計5回開催
3. 第37回大分県病院学会 実行委員会 計2回開催
第37回大分県病院学会 運営委員会 計8回開催
4. 第37回大分県病院学会
 - ・開催日時 令和元年11月17日(日) 8:40～16:20
 - ・場 所 別府市山の手町 ビーコンプラザ
 - ・学会テーマ 「忠恕を以て之を貫く～全ての人に思いやりと誠意をもって～」
 - ・参加人員(概数) 計2,293名
 - ・特別講演Ⅰ 「今後の医療政策について」
 - ・特別講演Ⅱ 「最近の災害医療と病院のBCP」
 - ・分科会 演題総数 174題 (口演66題・ポスター108題)
5. 名義後援
 - ・公益社団法人大分県老人保健施設協会
 - ・大分県地域リハビリテーション研究会
 - ・大分県リハビリテーション医学会
 - ・大分県リハビリテーション協議会
 - ・公益社団法人大分県言語聴覚士協会 他

B. 部会(コメディカル部門)の活動報告

1. 事務部会
 - ・研修会 計1回開催、委員会 計2回開催
2. 看護部会
 - ・研修会 計1回開催、委員会 計2回開催
3. 栄養部会
 - ・研修会 計3回開催、委員会 計4回開催
4. 社会福祉部会
 - ・研修会 計2回開催、委員会 計4回開催

III. 地域リハ活動における課題・今後の展開

全県下に於いて県及び市町村主導による地域包括ケアシステム構築が進んできました。大分県病院協会に所属する会員病院が大分県各圏域の中中学校区における基幹病院としての役割を果たし、病々連携、病診連携、介護・保健との連携も含めて役割を果たし、対象となる県民(高齢者、障害者、障害児等)の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように協力を惜しみません。また、災害時の医療拠点として、JMAT、AMAT及び大分JRATにも総力を挙げて協力する体制を構築しました。昨年に引き続き、これらの課題に対して更なる展開を考えています。

公益社団法人 大分県放射線技師会



会長
江 藤 芳 浩

I 本会の現状

会員：390名（令和2年3月末現在）

役員：理事13名、監事3名

本会は放射線に関する知識の普及啓発及び診療放射線学の向上発達を図るとともに県民の健康福祉の向上に寄与することを目的とし、県民への正しい放射線の知識の普及と啓発、放射線の管理及び障害防止の調査研究、診療放射線学の向上に関する研究及び指導、地域保健医療及び公衆衛生事業の推進と協力、放射線災害時に対応できる放射線測定技術者育成のための放射線量測定等を事業の柱として活動を行っている。

令和元年度上半期に計画した事業については滞りなく遂行したが、下半期の事業についてはCOVID-19感染拡大防止のため、令和2年2月以降に計画された学術イベントは全て中止とした。

II 事業

1. 大分県放射線技師会学術大会（主催）

大分県放射線技師会第27回学術大会

日 時：令和元年8月17日（土）

場 所：大分県薬剤師会会館

テーマ：オートプシー・イメージング（Ai）

特別講演：

「ラジエーションハウスから読み解くオートプシー・イメージング（Ai）

— 死因究明の主人公は診療放射線技師 —」 純真学園大学非常勤講師 阿部 一之

施設発表：

①大分三愛メディカルセンター 北里隆文

②別府医療センター 神田一徳

③大分大学医学部附属病院 大石真美

一般研究発表：

①「胸腰椎正面撮影法の検討」 明野中央病院 山本 聡

②「化学療法による心機能の影響」 大分記念病院 舟場 光

2. レントゲン週間イベント（主催）

日 時：令和元年9月16日（月）

場 所：コンパルホール

内 容：大分県「令和元年度すこやか家族博覧会」にて「健康寿命日本一応援企業ブース」として出展参加。乳がん検診の啓発、骨密度測定等を実施。

3. げんきフェア（共催）

1) 令和元年度「センターまつり&元気フェア2019」

日程：令和元年11月10日（日）

場所：大分県社会福祉介護研修センター

内容：マンモ触診疑似体験・乳癌検査相談、マンモ自己検診パンフレットの配布、骨密度測定

4. 学校訪問授業（主催）

①中津市立大幡小学校 令和元年6月28日（金）

②藤華医療技術専門学校理学療法・作業療法学科 令和2年1月16日（木）

③藤華医療技術専門学校看護科3年 令和2年1月31日（金）

④藤華医療技術専門学校看護科1年 令和2年3月6日（金）

5. 第16回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会

日 時：令和元年7月28日（日）

会 場：別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza

テーマ 「地域で支える認知症」

講 演：「これからの認知症対策～共生と予防に向けて～」

鳥取大学医学部保健学会生体制御学講座・環境保健学分野 教授 浦上 克哉

シンポジウム：「高齢運転者どう支援する？活動・参加を維持し、地域でいきいきと暮らすために」

①大分県警本部交通部運転免許課 講習補佐 衛藤 文彦

②NPO 法人えんしゅう生活支援 net 作業療法士 建木 健

③さわやか九州1ブロックインストラクター 社会福祉士 宮田 太一

6. 第8回大分県地域リハビリテーション・ケア大会

日 時：令和2年1月26日（日）

会 場：別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza

Ⅲ 地域リハ活動における課題と連携

1. リハビリ機能評価と画像情報の関連について他職種と連携し、有益な検査方法を検討する。
2. 骨密度測定を行う立場から転倒予防教室等や医療チームなどの活動に積極的に参画する。
3. 読影補助による専門性を生かした他職種への情報提供を行う。
4. 伊方原発事故でのサーベイ活動をはじめ、大規模自然災害時に他職種と連携し、支援を行うことができる日本診療放射線技師会認定の「災害支援認定診療放射線技師」の認定取得を推進する
5. ワイヤレスX線撮影装置、ノート型US装置を利用した在宅・往診検査の推進
6. 学校訪問授業や公開イベントを通じて県民へ正しい放射線の知識の普及を図る事業を行う。
7. 患者に対する放射線検査説明、被ばく相談に対応するため、日本診療放射線技師会認定の「被ばく相談員」の認定取得を推進する

公益社団法人 大分県薬剤師会



会長

安 東 哲 也

1. 会の現状 会員数 1,528名

当会は、地域包括ケアシステムの構築に向けて、かかりつけ薬剤師・薬局等を積極的に活用することで、地域における「チーム医療」を構成する一員としての役割を果たすことを目標としている。地域住民のニーズに応える優れた医薬品、医療機器等をより安全・迅速・効率的に供給するとともに、住み慣れた地域で安心して医薬品を使うことができる環境を整備すべく活動をおこなった。

併せて、大分県が進める県民の健康づくり「健康寿命日本一おおいた」への参画、高齢者サロン等で講演をおこなう「お薬健康相談会」など、地域・職域薬剤師会との連携のもと、組織強化を図り、県民の健康な生活環境の確保・向上に寄与していくことを目的とした事業等を行った。

2. 地域リハ活動の報告

① 大分県地域リハビリテーション研究会等への参画

② 地域ケア会議への参画

令和元年度地域ケア会議薬剤師派遣回数：296回

③ かかりつけ薬剤師・薬局の推進

かかりつけ薬剤師・薬局の推進のため必要な知識や技術の習得を目的とした研修をおこなった。

④ 多職種連携による薬局の在宅医療の取り組み

地域の医療・介護の専門機関と連携し、在宅医療に必要な知識や技術の習得を目的とした研修をおこなった。

○第1回在宅研修会（令和元年9月8日（日））

講師：筑波大学医学医療系地域総合診療医学 准教授

附属病院 総合診療科 吉本 尚先生

演題：よりよい地域包括ケアに向けて～多職種連携に必須な能力とは～

○第2回在宅研修会（令和元年11月23日（土））

講師：ファルメディコ株式会社 代表取締役社長 狭間 研至先生

演題：地域包括ケアにおける薬局・薬剤師の役割

～外科医が薬局に帰って見えてきたもの～

⑤ 健康サポート薬局の推進（県内健康サポート薬局件数：30薬局）

かかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機能に加え、国民による主体的な健康の保持増進を積極的に支援する（健康サポート）機能を備えた薬局に必要な知識を習得するための研修をおこなった。

⑥ 薬剤師認知症対応力向上研修会の開催

薬剤師が認知症の疑いのある人に早期に気づき、かかりつけ医等と連携するため、基本知

識や医療・介護との連携の重要性を習得することを目的とした研修をおこなった。

○第1回研修会（令和元年10月6日（日））

講師：社会医療法人関愛会 よつばファミリークリニック 平山 匡史先生

大分市長寿福祉課権利擁護担当班 主任 梅木 善雄氏

大分県薬剤師会医療福祉委員会

酒井 浩一常務理事・多森 直樹委員・児玉 淳委員

○第2回研修会（令和元年10月20日（日））

講師：医療法人百花会上野公園病院 院長 長野 浩志先生

日田市長寿福祉課 井上 珠美氏

日田市認知症地域支援推進員 矢幡 剛氏

医療法人百花会上野公園病院 薬剤部 泉 一恵先生

大分県薬剤師会医療福祉委員会 北郷 太門委員長

⑦ 高齢者サロン等でのお薬健康相談会実施

身近に相談できる薬剤師がいない在宅療養中の患者等に対して、正しい薬の飲み方など、薬に関する不安や疑問などを解消することを目的とした薬健康相談会をおこなった。令和元年度お薬健康相談会実施件数：81回

また、地域包括ケア推進のため薬剤師による在宅患者等高齢者に向けたお薬健康相談会の実施にあたり、必要な知識や技術の習得を目的とした研修をおこなった。

3. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

地域包括ケアシステムの構築に向けて、薬剤師の職能を発揮すべく、研修会等を開催し資質向上を行うとともに、地域ケア会議や在宅訪問活動など積極的に多職種と意見交換を行い、より連携を高められるよう努める。

かかりつけ薬剤師・薬局の資質の向上や在宅・介護の構築をはじめ、地域住民の身近な相談相手として地域住民が望む健康の維持・増進に積極的に関わるなどの目的達成に向けた施策等を、地域・職域薬剤師会と連携のもと遂行する。

公益社団法人 大分県理学療法士協会



会長

市川 泰朗

I. 会の状況（令和2年3月31日時点）

- [1] 会員数：1,640人
- [2] 支部構成：6ブロック（大分、別杵速見、県北、県南、久大、豊肥）

II. 地域リハ関係の活動

[1] 地域医療、地域保健及び社会福祉への協力に関する事業

- 1. 中学校における運動器検診
- 2. トランスファー研修会「起居移乗の動作介助技術 テクニック編 及び 福祉用具編」
- 3. ウィメンズヘルス研修会「ウィメンズヘルス理学療法～リスク管理編～」
- 4. 子育て支援事業（ママのための体力づくり）
- 5. すこやか家族博覧会における体力測定、相談会の実施
- 6. 大分県保健医療団体協議会主催「げんきフェア」・介護研修センターまつりへの協力
 - ①健康年齢チェック②体操指導③タペストリー展示④理学療法に関する相談会④記念品等の配付
- 7. 各競技団体のトレーナーサポート（メディカルチェック，フィジカルチェック，体重測定）

[2] 行政等他組織の事業への協力・支援

- 1. 介護労働安定センター主催「健康確保ヘルスカウンセラー業務」への派遣
- 2. 国東市一般介護予防事業「さ吉くんで元気体操普及リーダー」養成講座の講師
- 3. 九重町スポーツ少年団 スポーツリーダー兼スポーツ少年団員養成講習会における講師
- 4. 竹田市指定事業所等実践力向上研修会「運動機能向上プログラムと評価」の講師
- 5. 地域ケア会議の司会や運営に関する助言・指導
- 6. 地域づくりによる介護予防推進のための指導者派遣
- 7. 津久見市介護予防リーダー研修会「運動の効果について」の講師
- 8. 津久見市長寿支援課 津久見市地域づくりサロン（週1元気アップ体操）への派遣
- 9. 由布市介護予防事業に係る専門職派遣（体力測定，転倒・骨折予防，尿漏れ予防）
- 10. 中津市認知症地域ケア会議への派遣
- 11. 日臨技，都道府県技師会ベッドサイド実践講習会の講師
- 12. 社会福祉介護研修センター通所訪問介護事業所向け「実践事例に関するミニレクチャー」の講師
- 13. NPO法人自立支援センターおおいた主催研修会「基本の介護」の講師
- 14. 医師・歯科医師等の多職種が参加する地域ケア会議の助言者派遣
- 15. 大分県社会福祉介護研修センター「介護職員現任者研修」「事例検討のアドバイザー」の講師

16. 大分県地域包括ケア広域支援員派遣事業に係る派遣
17. 大分市長寿福祉課 自立支援型ケアプラン相談会への派遣
18. 大分市長寿福祉課 地域介護予防リーダー研修会の講師
19. 大分市長寿福祉課 サービス事業所実践力向上研修会の講師
20. 介護認定審査会への派遣
21. 障がい者介護給付費等認定審査会への派遣
22. 地域ケア会議専門職種派遣
23. 大分県社会福祉協議会 社会福祉施設経営指導事業への派遣
24. 大分県西部保健所委託事業 「職場ぐるみの運動スタート・定着事業」

[3] 理学療法の知識の普及・啓発に関する事業

1. 令和元年度理学療法週間事業の開催（一般県民向：健康年齢チェック、タペストリー展示、高校生対象の施設見学、月刊ぷらご掲載、イベントポスターの作成・設置、メディアでの広報）
2. 知りたい自分のカラダ～介護予防・健康増進キャンペーン開催
3. 広報誌「志（こころざし）Vol.10」発行（印刷数：2,000部／会員施設、個人会員、県内中学校・高等学校、教育事務所、別府市・九重町公民館へ送付）
4. ニュース「あおぞら」発行及び発送（部数 2,050部／発行回数年3回／会員、会員所属施設、賛助会員、行政、マスコミ関係、関係団体へ送付）

[4] 地域リハビリテーションの理解と実行に向けた事業

1. 関係会議、研修会運営等への出席派遣：大分県地域リハビリテーション研究会 運営部会、大分県リハビリテーション支援センター・地域リハビリテーション研究会合同研修会、大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会交流会・研究大会
2. 推進リーダー育成研修：①地域包括ケア：地域ケア会議に求められる理学療法士の役割、模擬会議他②介護予防：介護予防事業の取り組み・展開・企画立案・実践事例の紹介 他
3. 産業理学療法研修会開催：産業理学療法の基礎と実務について
4. 地域包括ケアシステム推進委員会・大分県リハビリテーション専門職団体協議会への事業協力（大分県地域ケア会議アドバイザー強化初任者研修・現任者研修（県委託事業）への事業協力・派遣

Ⅲ. 地域リハの活動における課題・今後の取り組み

当会では、これまでに地域ケア会議、介護予防事業、ヘルスカウンセラー等に対して人的派遣を通して地域活動を行ってきました。ここ数年は、高齢者にとどまらず幅広い年齢層に対する予防・健康維持増進等を目的に産業理学療法、ウィメンズヘルスやスクールトレーナーといった領域での事業を拡充しています。また当協会が6年前に作成した「結果の出せるトレーニングマニュアル」はコンテンツを充実させた改訂版を本年3月に発刊致しました。このマニュアルはこれから様々な分野での活用が期待できます。

今後の課題といたしましては、これらの事業に対する出向者のさらなるスキルアップも含めた「人材育成」に努めて参ります。適切な運動療法が健康寿命を延ばします。新型コロナウイルス感染拡大の中、集合機会は当面大幅に減るでしょうが、専門職として県民の健康を守るために我々が今出来ることをしっかり考え、使命を果たしていきたいと考えます。

公益社団法人 大分県臨床検査技師会



会長

佐藤元恭

当会は、現在 820 名の会員を有し、職能団体及び学術団体として会員の技術向上に努めると共に県民の保健予防・疾病予防の早期発見のために日々それぞれの部門で活動を行っている。学術部、組織部は会員の専門的知識の向上や地区会員との交流を深める活動を行い、企画部は公益事業および職能集団として一般の方を対象に臨床検査についての理解を深めるための活動を行っている。

【学術部門】

学術部は生物化学、臨床一般、臨床血液、臨床微生物、臨床生理、輸血細胞治療、染色体・遺伝子、臨床検査総合、病理細胞部門の 9 部門において研修会・講演会等を開催している。

学会については、令和元年 5 月 18 日～19 日、第 68 回日臨技日本医学検査学会が山口県下関市で、第 54 回日臨技九州支部医学検査学会が 11 月 2 日～3 日に熊本県にて開催され、多くの会員が参加した。講演会等については、学術合同講演会を大分市において「血清 AIP、LD の常用基準法改定について」、「物言わぬ死者の最後の医療～法医学における臨床検査技師の役割」、地区学術合同講演会は県南豊肥地区が担当で佐伯市にて「ICT での臨床検査技師の取組」と題して行った。また、精度管理調査報告時での特別講演は「医療法改正一年後の現状について」大分県医師会会館で開催した。各部門研修会は生物化学部門 6 回、染色体遺伝子部門・臨床微生物部門合同で 1 回、染色体遺伝子・臨床血液部門合同で 1 回、染色体遺伝子・検査総合・病理細胞診合同で 1 回、臨床微生物部門 5 回、輸血細胞治療部門 3 回、臨床生理部門 11 回、臨床血液部門 3 回、臨床一般部門 3 回、病理細胞診部門 6 回、43 回の研修会・実習を行った。支部研修会は、九州 8 県が輪番にて開催し、令和 2 年 1 月に輸血細胞治療部門の研修会を大分市で行い、九州各県より 100 数名の会員が集った。法的に指針が示された医療の質の担保を担っている精度管理事業については、大分県医師会精度管理委員会と合同で 7 月に調査を行い 180 施設の参加があった。令和元年 12 月に第 32 回精度管理報告会を県医師会館にて行い、各施設の精確度を確認した。また、臨床検査の質の向上に欠かせないデータ標準化事業は、臨床検査データ標準化部会の 5 ブロック（大分・別府・県南・県西・県北の 8 施設）が中心となり、参加 78 施設へ九州内の医学部付属病院を中心とした 16 施設（大分県の 2 施設：大分大学附属病院・大分県立病院）で測定した目標値設定のプール血清を毎月配布し、継続して精度の確立を行い、2 か月に一度、県医師会にて精度管理標準化実務者委員会を開催し、目標値より外れた施設には、各責任者がデータに対して改善の指導等を行い、また、全国的に実施されている共用基準範囲に関する啓発事業も行っている。

【組織部】

組織部は、会員相互の交流・親睦を図る事、各地区の会員の意見を尊重した研修会の開催を目標

に活動している。大分地区・別杵地区・県西地区・県北地区・県南豊肥地区の5ブロックで各地区の要望に沿った研修会、交流会を企画し、大分地区2回、別杵地区2回、県北地区3回、県西地区4回、県南豊肥地区3回、延べ14回321名が参加した。県南豊肥地区担当での地区学術合同講演会は感染対策について「ICTから検査室に求めること」と題して講演を大分県立病院感染対策室の感染管理看護師さんへお願いし好評を得た。さらに、公益事業として各地区で開催される健康イベントも企画部と協力して行っている。今年度の健康イベントは、“元気フェア”、“街角チェック”、竹田市の健康フェア、日田市の福祉健康まつりなどに協力した。

【企画部】

企画部の活動は、日臨技委託公益事業として令和元年12月に全国「検査と健康展」を大分市で開催し、肺機能検査・血管年齢検査・頸部血管エコー・体成分計測・脈波図検査・骨密度検査を行い132名の参加があった。また、臨床検査専門医による健康相談・大分県栄養士会の協力による栄養相談を実施し、好評を得た。“がん予防啓発”としてリレーフォーライフ大分への参加は、コロナの関係上中止となった。他団体への事業として大分県保健医療団体協議会（11団体）との“元気フェア”は大分県社会福祉センターにおいて「センターまつり&げんきフェア」、と題して開催され、体成分計測には184名の市民が検査した。大分県地域リハビリテーション研修会の活動として「大分県リハ支援センター・地域リハ研究会合同研修会」、「大分県地域リハビリテーション研修会」の活動や地域で開催される健康イベントへの協力を行った。今年は竹田市・日田市に協力した。当会でやっている公益事業は、日臨技からの委託事業や当会主催の公益事業、他の医療団体との共同開催および市町村の健康イベントへの協力などがあり、今後も他団体との共同開催の公益事業には積極的に活動できる体制を整えていきたいと考えている。

（現在、技師会の機器として肺機能検査機器・骨密度の機器・体成分分析機を保有している）

特に各市町村・各医療団体での健康イベントには、開催目的を確認した上で、希望に沿った検査内容を提案していきたい。

【今後の活動】

日本臨床衛生検査技師会の動き方改革に合わせ、今後の臨床検査・臨床検査技師の在り方を視野に入れた事業展開を考えている。平成25年度から全国展開している「検査と健康展」、平成26年度からの「検体採取に関する厚生労働省指定講習会」が7支部で5年間開催され、約8割の検査技師が受講したが、まだ現場での実施には至っていないのが現状である。

コロナでの終息が、まだ見えない状況下で我々臨床検査技師の活動が少しでも評価されるような働き方を行わなければならない。また、「臨床検査に関する法律の一部改正」が44年ぶりに施行され、技師が精度管理管理者として法的に明記され、責任感が問われるようになった。「検査前の説明・採血及び検体採取・検査の実施・報告書の作成・検査結果の説明」など、検査全般に責任を持つ業務を実践し、地域医療への参画がこれからの臨床検査技師の在り方だと考える。そのためには、他職種連携への研修会、医療・検査におけるニューリーダーの育成、患者様を目の前にした新たな業務に対する人材育成に力を注いでいかなければと考えている。

公益社団法人 大分県臨床工学技士会



理事長
小 川 一

会の現状

会員数 338 名（令和2年3月31日現在）

令和元年度主な活動と取組

I. 学術技能に関する事

1. 医療機器安全管理セミナーの開催 血液浄化・呼吸器・循環器の3件を開催。
2. 共催セミナーの開催 血液透析関連の2件を開催。
3. 第38回大分人工透析研究会支援参加協力
令和元年10月11日（金）全労済ソレイユ
4. 第11回大分県臨床工学会の開催
日時：令和元年11月30日（土）～令和元年12月1日（日）
場所：別府ビーコンプラザ国際会議室他 参加者 171名
5. 第11回九州臨床工学会市民公開講座の開催
日時：令和元年11月30日（土） 場所：別府ビーコンプラザ中会議室
演者：九州自然動物公園アフリカンサファリ 獣医師 神田 岳委先生
「動物と共に生きる」

II. 関連団体との交流に関する事

1. 災害対策に関する事

- ・令和元年8月24日（土）大分県透析医療「第5回災害を考える日」を開催
“5年間のまとめ”を報告（田邊）
- ・令和元年9月1日（日）
日本透析医会「災害時情報伝達訓練」に協力。
“おおいた医療情報ほっとネット”を利用した災害時情報入力訓練に協力。
（大分県福祉保健部健康づくり支援課と連携）
事前に県内の施設に参加を呼び掛ける（災害ネットワークを利用）
- ・令和元年11月5日（火）第5回別府透析フォーラム
“大分県透析医療の災害対策”を講演（田邊）
- ・令和2年2月15日（土）令和元年度 全腎協九州ブロック会議 in 大分
“大分県臨床工学技士会 災害対策の取り組み”を講演（田邊）

2. 各医療関係団体と交流を図り県民への公益事業を行う（渉外部門）

（1）大分県地域リハビリテーション研究会

- ・第16回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会
日時：令和元年7月28日（日） 会場：別府ビーコンプラザ
運営スタッフを派遣
- ・第8回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会
日時：令和2年1月26日（日） 会場：別府ビーコンプラザ
テーマ「原点回帰」
一般演題（口述発表） 在宅血液透析について 永松理事
運営スタッフを派遣 前日交流会へ3名出席 当日研究会へ5名出席
運営部会への参加
第1回 平成31年4月19日（金） 井野辺病院会議室にて
役員会への参加
第13回役員会 令和元年7月8日（月） 監査 高畑理事出席
大分県リハビリテーションセンター 第17回拡大運営会議
日時：令和元年6月18日（火） 委任出席 活動報告書を提出

（2）大分県医療保険団体協議会

- ・令和元年度第1回大分県保健医療団体協議会理事会情報交換会へ出席
日時：令和元年6月14日（金） 小川理事長 薬師寺理事
内容：平成30年度事業・決算報告・令和元年度事業計画（案）等
- ・大分県保健医療団体協議会反省会へ出席
日時：令和元年11月28日（木） 薬師寺理事 上野委員長 小野委員
- ・大分県保健医療団体協議会研修会
日時：令和2年3月20日（金・祝） 大分県栄養士会担当→コロナ関連で中止となった。

（3）医工連携

- ・東九州メディカルバレー構想推進大会へ参加
日時：令和2年2月12日（水） 会場：レンブラントホテル大分
垣迫副理事長 高畑理事出席

（4）大分市ヤングキャリアアドバイザー事業

- 中村病院 姫野委員 アルメイダ病院 若宮委員
事前研修会、講演会（それぞれ大分市内中学校3校）、報告会へ出席
報告書を会誌へ掲載

地域リハビリテーション活動における課題・今後の取り組み

令和2年度診療報酬改定の基本方針に、医師の働き方改革の推進や医療機能の分化・強化、連携と地域包括ケアシステムの推進等が掲げられています。我々臨床工学技士も各職種と連携し、在宅血液透析や在宅人工呼吸器等、質の高い在宅医療の確保にお手伝い出来るように、一歩ずつ進んでいきたい。

連絡先一覧

1. 県リハセンター・広域支援センター

○大分県リハビリテーション支援センター（県リハセンター）

独立行政法人 地域医療機能推進機構 湯布院病院 （旧：湯布院厚生年金病院） 〒 879-5193 大分県由布市湯布院町川南 252 TEL (0977-84-3171) FAX (0977-85-5880)

○大分県地域リハビリテーション広域支援センター

圏域	地域	施設名	所在地	TEL/FAX
東部	東国東	国東市民病院	大分県国東市安岐町下原 1456	0978-67-1211 0978-67-3190
	別杵速見	農協共済別府リハビリテーションセンター	大分県別府市鶴見 1026-10	0977-67-1711 0977-67-1712
中部	大分	井野辺病院	大分県大分市中尾 255 番地	097-586-5522 097-586-5656
		大分リハビリテーション病院	大分県大分市大字志村 字谷ヶ迫 765 番地	097-503-5000 097-503-5888
	臼津	臼杵市医師会立コスモス病院	大分県臼杵市戸室 1131-1	0972-62-5599 0972-62-3928
南部	佐伯	長門記念病院	大分県佐伯市鶴岡町 1-11-59	0972-24-3000 0972-23-6640
豊肥	大野	社会医療法人 婦巖会みえ病院	大分県豊後大野市三重町赤峰 1250-1	0974-22-2222 0974-22-0222
	竹田	大久保病院	大分県竹田市久住町栢木 6026-2	0974-77-2341 0974-77-2247
西部	日田玖珠	大分県済生会日田病院	大分県日田市三和 643-7	0973-24-1100 0973-22-1269
北部	中津	川嵩整形外科病院	大分県中津市宮夫 17	0979-24-0464 0979-24-6258
	宇佐高田	佐藤第一病院	大分県宇佐市法鏡寺 77-1	0978-32-2110 0978-33-4918

2. 県内地域リハビリテーション専門職能団体（拡大運営会議構成団体）連絡先

（五十音順）

団体名	住所	TEL	FAX
(一社) 大分県医療ソーシャルワーカー協会	870-0307 大分市大字佐賀関 750-88 佐賀関病院内	097-575-1172	097-575-1154
大分県栄養士会	870-0912 大分市原新町 9 番 2 号	097-556-8810	097-556-8921
大分県介護支援専門員協会	870-1133 大分市大字宮崎 1367-1 甲斐ビル 215 号	097-504-7500	097-504-7501
大分県介護福祉士会	870-0921 大分市萩原 4-8-58 大分県整骨会館 3F	097-551-6555	097-547-9936
大分県看護協会	870-0855 大分市豊饒 310-4	097-574-7117	
大分県言語聴覚士協会	870-0048 大分市碩田町 1-1-27 3 階	097-529-7105	097-529-8109
大分県公認心理師会 (大分県臨床心理士会)	870-0023 大分市大字長浜町 1 丁目 7-3 サンライズ長浜 401 号室	0977-67-0101	
大分県作業療法協会	870-0038 大分市西春日町 3-2 大分県作業療法協会ビル	097-547-8662	097-547-8663
大分県歯科医師会	870-0819 大分市王子新町 6-1	097-545-3151	097-545-3155
大分県歯科衛生士会	870-0819 大分市王子新町 6-1 大分県歯科医師会館内	097-545-3203	097-545-3203
大分県視能訓練士会	874-0935 別府市駅前町 5-5 高木眼科医院	0977-23-1230	0977-23-1299
大分県地域包括・総合相談・居宅介護支援センター協議会	870-0907 大分市大津町 2-1-41	097-558-0300	097-558-6001
大分県地域リハビリテーション医師懇話会	870-0862 大分市中尾 255	097-586-5522	097-586-5656
大分県地域リハビリテーション研究会	870-0945 大分市津守 888-6 諏訪の杜病院内	097-567-1277	097-567-3066
大分県病院協会	870-8563 大分市駄原 2892-1 大分県医師会館内 (5F)	097-540-5526	097-540-5597
大分県放射線技師会	870-0844 大分市大字古国府 1155 番地の 1 (㈱マイダスコミュニケーション内)	097-574-7625	097-574-7715
大分県薬剤師会	870-0855 大分市大字豊饒字光屋 441-1	097-544-4405	097-544-1051
大分県理学療法士協会	870-0127 大分市大字森町 501-3	097-547-7797	097-521-9077
大分県臨床検査技師会	876-0857 佐伯市常盤西 11-20	0972-22-0547	0972-22-0614
大分県臨床工学技士会	870-0844 大分市大字古国府 1155 番地の 1 (㈱マイダスコミュニケーション内)	097-544-7070	097-567-1612

※介護保険サービス事業所の連絡先は県庁ホームページの「介護保険指定事業所一覧」から検索ください。

※地域包括支援センター一覧表は大分県庁ホームページより検索ください。

大分県庁ホームページ
www.pref.oita.jp

地域リハビリテーション 活動報告書(令和元年度版)

発行日 令和2年9月1日

発行責任者 大分県リハビリテーション支援センター
センター長 三原 太

編集 事務長 小野 宏
県リハ運営部長 迫頭 友美
運営部事務長兼運営部長補佐 佐藤 友美
支援連携室 吉村 修一

由布市湯布院町川南 252
JCHO 湯布院病院内
TEL 0977-84-3171
FAX 0977-85-5880

地域リハビリテーション活動報告書(令和元年度版)

発行日 令和2年9月1日

発行責任者 大分県リハビリテーション支援センター
センター長 ……………三原 太

編集 事務長 ……………小野 宏
県リハ運営部長 ……………迫頭 友美
運営部事務長兼運営部長補佐 ……佐藤 友美
支援連携室 ……………吉村 修一

由布市湯布院町川南252 JCHO湯布院病院内
TEL:0977-84-3171 FAX:0977-85-5880